



SUPER  
FORMULA

JRP  
Japan race promotion inc.

2020 SUPER FORMULA

# MEDIA GUIDE



# 2020 SUPER FORMULA Media Guide

2020開催日程	3
エントリーリスト	4
賞典	5
メディア配信	6
車両規定抜粋	7
スポーティングレギュレーション抜粋	8
チーム&ドライバー紹介	9
サーキットガイド	32
2019 レースリザルト	35
1996-2019 ポイントランキング	37
歴代チャンピオン	49
SUPER FORMULA記録集	51
肖像権について	54

**SUPER FORMULA Official Website** メディア会員にご登録ください。

<http://superformula.net> ⇒ メディア

メディア会員専用ページでは、メディアの方向けの各種ご案内メール配信サービスを行っております。ご登録の上、ご活用ください。

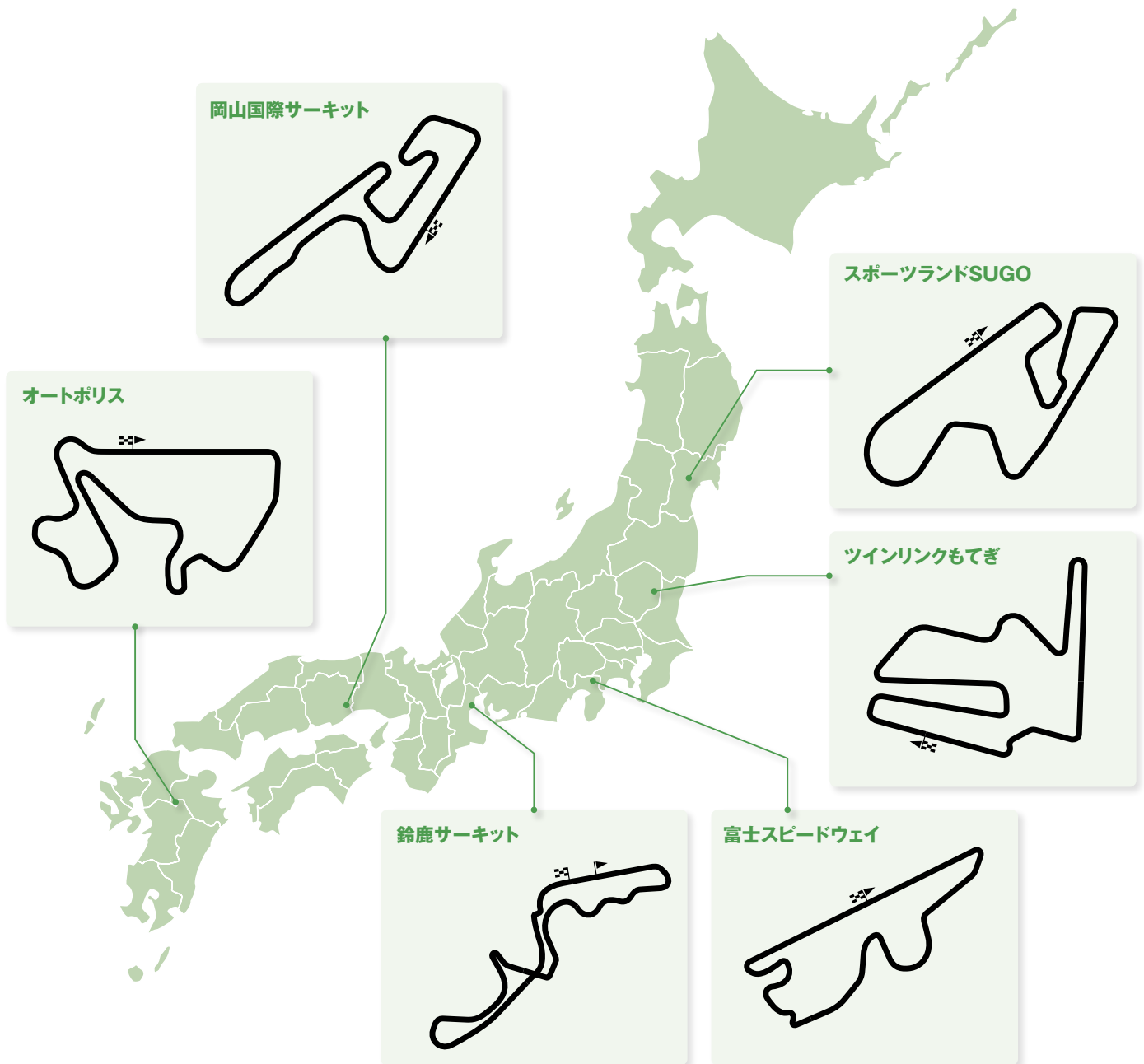


# 2020 SUPER FORMULA SCHEDULE

## 2020 SUPER FORMULA 開催日程

ラウンド	日程	開催地	予選方式	レース	チケット販売開始日	備考
第1戦	8/29(土)～30(日)	ツインリンクもてぎ 栃木県	ノックアウト	250km		・全日本スーパーフォーミュラ・ライツ選手権第1・2・3戦 ・TCRジャパンシリーズ第2戦 ・N-ONE OWNER'S CUP第10戦
第2戦	9/26(土)～27(日)	岡山国際サーキット 岡山県	ノックアウト	250km		・全日本スーパーフォーミュラ・ライツ選手権第4・5戦 ・TCRジャパンシリーズ第3戦 ・N-ONE OWNER'S CUP第11戦 ・ロードスター・パーティレースⅢ 西日本シリーズ第3戦
第3戦	10/17(土)～18(日)	スポーツランドSUGO 宮城県	ノックアウト	250km		・全日本スーパーフォーミュラ・ライツ選手権第6・7・8戦 ・N-ONE OWNER'S CUP第6戦
第4戦	11/14(土)～15(日)	オートポリス 大分県	ノックアウト	250km		・全日本スーパーフォーミュラ・ライツ選手権第9・10・11戦 ・TCRジャパンシリーズ第4戦
第5戦 第6戦	12/5(土)～6(日)	鈴鹿サーキット 三重県	ノックアウト	250km		・全日本スーパーフォーミュラ・ライツ選手権第12・13・14戦 ・TCRジャパンシリーズ第5戦
第7戦	12/19(土)～20(日)	富士スピードウェイ 静岡県	ノックアウト	250km		・全日本スーパーフォーミュラ・ライツ選手権第15・16・17戦 ・TCRジャパンシリーズ第6戦

※ 日程や内容は変更になる場合があります。



# 2020 SUPER FORMULA ENTRY LIST

## 2020年エントリーリスト

No.	ドライバー	車名	チーム名(読み)	監督	エンジン
1	<b>ニック・キャンディ</b> Nick Cassidy 1988/7/11生 日本/栃木県	VANTELIN KOWA TOM'S SF19	VANTELIN TEAM TOM'S (バンテリン チーム トムス)	舘 信秀	TOYOTA/TRD TRD01F
36	<b>中嶋 一貴</b> Kazuki Nakajima 1985/1/11生 日本/愛知県	VANTELIN KOWA TOM'S SF19			
3	<b>山下 健太</b> Kenta Yamashita 1995/8/3生 日本/千葉県	ORIENTALBIO KONDO SF19	KONDO RACING (コンドー レーシング)	近藤 真彦	TOYOTA/TRD TRD01F
4	<b>サッシャ・フェネストラズ</b> Sacha Fenestraz 1999/7/28生 フランス	ORIENTALBIO KONDO SF19			
5	<b>山本 尚貴</b> Naoki Yamamoto 1998/7/11生 日本/栃木県	DOCOMO DANDELION M5S SF19	DOCOMO TEAM DANDELION RACING (ドコモ・チーム・ダンディライアン・レーシング)	吉田 則光	Honda/M-TEC HR-417E
6	<b>福住 仁嶺</b> Nirei Fukuzumi 1997/1/24生 日本/徳島県	DOCOMO DANDELION M6Y SF19			
7	<b>小林 可夢偉</b> Kamui Kobayashi 1986/9/13生 日本/兵庫県	KCMG Elyse SF19	carrozzeria Team KCMG (カロッツェリア チーム ケーシーエムジー)	松田 次生	TOYOTA/TRD TRD01F
18	<b>国本 雄資</b> Yuji Kunimoto 1990/9/12生 日本/神奈川県	KCMG Elyse SF19			
12	<b>タチアナ・カルデロン</b> Tatiana Calderon 1993/3/10生 コロンビア	ThreeBond Drago CORSE SF19	ThreeBond Drago CORSE (スリーボンド・ドラゴコルセ)	道上 龍	Honda/M-TEC HR-417E
14	<b>大嶋 和也</b> Kazuya Oshima 1987/4/30生 日本/群馬県	ROOKIE Racing PONOS SF19	ROOKIE Racing (ルーキー レーシング)	片岡 龍也	TOYOTA/TRD TRD01F
15	<b>ユーリ・ビップス</b> Juri Vips 2000/8/10生 エストニア	TEAM MUGEN SF19	TEAM MUGEN (チーム・ムゲン)	中野 信治	Honda/M-TEC HR-417E
16	<b>野尻 智紀</b> Tomoki Nojiri 1989/9/15生 日本/茨城県	TEAM MUGEN SF19			
19	<b>関口 雄飛</b> Yuhi Sekiguchi 1987/12/29生 日本/東京都	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF19	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL (イトウチュウエネクス チーム インパル)	星野 一義	TOYOTA/TRD TRD01F
20	<b>平川 亮</b> Ryo Hirakawa 1994/3/7生 日本/広島県	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF19			
38	<b>石浦 宏明</b> Hiroaki Ishiura 1981/4/23生 日本/東京都	JMS P.MU/CERUMO・INGING SF19	JMS P.MU/CERUMO・INGING (ジェームス ピーエムユーセルモインギング)	立川 祐路	TOYOTA/TRD TRD01F
39	<b>坪井 翔</b> Sho Tsuboi 1995/5/219生 日本/埼玉県	JMS P.MU/CERUMO・INGING SF19			
50	<b>セルジオ・セッテ・カマラ</b> Sergio Sette Camara 1998/5/23生 ブラジル	Buzz Racing SF19	Buzz Racing with B-Max (バズ レーシング ウィズ ビーマックス)	長谷川 謙一	Honda/M-TEC HR-417E
51	<b>シャルル・ミレス</b> Charles Milesi 2001/3/4生 フランス	GOLDEX Racing SF19			
64	<b>牧野 任祐</b> Tadasuke Makino 1997/6/28生 日本/大阪府	TCS NAKAJIMA RACING SF19	TCS NAKAJIMA RACING (ティージーエス・ナカジマレーシング)	中嶋 悟	Honda/M-TEC HR-417E
65	<b>大湯 都史樹</b> Toshiki Oyu 1998/8/4生 日本/北海道	TCS NAKAJIMA RACING SF19			

ホンダエンジン使用チーム:5チーム9台 トヨタエンジン使用チーム:6チーム11台 タイヤ:ヨコハマ ※エントリーは変更になる場合があります。

## シリーズ賞典

スーパーフォーミュラは各レースでの入賞成績に応じてポイントが与えられ、年間の合計でシリーズチャンピオンを決定。ドライバーとチームの2部門に全日本スーパーフォーミュラ選手権のタイトルが懸けられ、チャンピオン獲得者には下記賞典が授与されます。



### 年間チャンピオンチーム

正賞	副賞	
経済産業大臣杯 (経済産業省)	賞金 (JRP)	日本の産業の基幹である自動車産業を広く内外に示し、フォーミュラカーレースを通して自動車振興に寄与したことを表し授与される。

### 年間チャンピオンチーム

正賞	副賞	
ドライバーズチャンピオンカップ	賞金 (JRP)	
観光庁長官杯 (観光庁)		自動車競技を通じ、体力の向上ならびに心身の健全育成に寄与し、国内の交流ならびに国際親善、観光振興への貢献を称え授与される。
自由民主党モータースポーツ振興議員連盟杯 (自由民主党)		日本の自動車産業育成およびモータースポーツの普及と育成への貢献を表して授与される。 ※自由民主党モータースポーツ振興議員連盟とは、日本国内の自動車産業ならびに自動車文化の向上、またモータースポーツを通じて社会貢献を行い、その他様々な活動を行うことを目指して設立された連盟。

### ルーキー・オブ・ザ・イヤー

正賞	副賞	
トロフィー	賞金 (JRP)	当該年度初参戦となるルーキードライバーが3名以上存在する場合、その中で年間獲得ポイント最上位の選手に贈られる。(ルーキー：スーパーフォーミュラの決勝レース出走回数が積算で4戦未満のドライバー)

## シリーズパートナー / シリーズサポーター / プロモーションパートナー

Series Partner

# HONDA

本田技研工業株式会社  
<http://www.honda.co.jp/>

# TOYOTA

トヨタ自動車株式会社  
<http://www.toyota.co.jp/>

Promotion Partner

## ThreeBond

スリーボンド  
<https://www.threebond.co.jp/>

人気酒造  
 NINKI-ICHI  
 人気酒造株式会社  
<http://www.ninki.co.jp/>

Series Supporter

## YOKOHAMA





横浜ゴム株式会社  
<http://www.y-yokohama.com>

Broadcasting Partner



BSフジ  
 株式会社BSフジ  
<http://www.bsfuji.tv/>

J SPORTS  
 株式会社ジェイ・スポーツ  
<http://www.jsports.co.jp/>

## TV放映

	シリーズ全7戦の決勝の模様をレース当日の18時~19時55分という、より視聴者の多い時間帯で録画放送します。
	「スーパーフォーミュラ」の総合情報番組として2018年に新たなスタートを切って今年で3年目。さまざまなテーマでスーパーフォーミュラをクローズアップし、多くの方が楽しめるよう充実した内容でお届けします。ナレーターは乃木坂46の樋口日奈が担当。
	シリーズ全7戦の予選と決勝の模様をライブで中継。再放送やレースダイジェストも放送します。
	今シーズンからスーパーフォーミュラの予選・決勝を全世界に向けてLive配信いたします。

## 映像配信

	大会終了10日後よりスーパーフォーミュラの決勝レースを全戦オンデマンドにて無料配信。
	スーパーフォーミュラ公式サイト及び公式FACEBOOKで配信。

## インターネット/SNS

スーパーフォーミュラオフィシャルWEBサイト <a href="http://superformula.net">http://superformula.net</a>	<a href="#">「スーパーフォーミュラ」で 検索</a>
スーパーフォーミュラオフィシャルfacebook <a href="https://www.facebook.com/superformula.official">https://www.facebook.com/superformula.official</a>	<a href="#">「スーパーフォーミュラfacebook」で 検索</a>
スーパーフォーミュラオフィシャルTwitter <a href="https://twitter.com/super_formula">https://twitter.com/super_formula</a>	<a href="#">「スーパーフォーミュラtwitter」で 検索</a>
スーパーフォーミュラオフィシャルInstagram <a href="https://www.instagram.com/superformula_official">https://www.instagram.com/superformula_official</a>	<a href="#">「スーパーフォーミュラInstagram」で 検索</a>
スーパーフォーミュラ公式Live Timingアプリ i OS, Android対応無料ライブタイミングアプリ	<a href="#">「SUPERFORMULA」で 検索</a>

## ファンクラブ

<b>オフィシャルファンクラブ</b> <b>「CLUB F」</b>	ファンクラブに入会いただくと、前売観戦券や年間パスの会員特別価格での購入やオリジナルグッズのプレゼントなどの会員特典があります。(※2020年シーズンはファンクラブの運用を中止しています。)
--	---

詳しくは公式サイト <http://superformula.net>をご覧ください。

## 2020 SUPER FORMULA 車両規定抜粋

以下はスーパーフォーミュラの基本的な車両規則です。  
正確な内容は2020年JAF国内競技車両規則をご覧ください。

### シャシー

JAF が認めたスーパーフォーミュラ車両製造者から供給された車両で、イタリアのダラーラ製 SF19 を今年度から使用している。

メーカー	ダラーラ・オートモービル (イタリア)
全長	5,233mm
全幅	1,910mm
全高	960mm
ホイールベース	3,115mm
最低重量	670kg (ドライバー込み)
車体	カーボンコンポジット製
ミッション	6速パドルシフト式 (リカルド製)
ブレーキ	カーボンディスクローター (ブレンボ製)



### エンジン

エンジンは直噴直列4気筒ターボ、排気量2000cc以下で、現在はHondaとトヨタが開発したNRE (ニッポン・レース・エンジン) を使用する。燃料供給の流量は燃料流量リストラクターによって制限される。



Honda/M-TEC HR-417E



TOYOTA/TRD TRD01F

### タイヤ

横浜ゴム製のワンメイク F:270/620R13 R:360/620R13 (スリックタイヤ)

### オーバーテイクシステム

スーパーフォーミュラでは独自のシステムのひとつとして、決勝中にエンジンのパワーが増すオーバーテイクシステム (OTS) を採用している。これはオーバーテイクボタンを押すと燃料流量が増えて (10kg/h) パワーアップする。1レースで100秒まで使用できるが、1度使うと100秒間は使えない。ドライバーの後ろのマシン上部にオーバーテイクランプがついており、使用時間が残り20秒までは緑、20秒を切ると赤が点灯する。OTS作動中は高速で点滅し、100秒間の使用制限中はゆっくり点滅する。またマシン後部にあるランプも連動して光る。



## 2020 SUPER FORMULA 競技規則抜粋

以下はスーパーフォーミュラの基本的な競技規則です。

正確な内容は2020年全日本スーパーフォーミュラ選手権統一規則をご覧ください。

### ■車両／エンジン／タイヤの使用制限

#### 車両

スペアカーは使用できない。

#### エンジン

各競技者が年間で使用できるエンジンは1基。

#### エンジンを交換した場合

車検開始前	予選結果から10グリッド降格
車検後～決勝日フリー走行終了後1時間まで	予選結果から10グリッド降格
決勝日フリー走行終了後1時間過ぎ～スタート手順開始まで	グリッド最後尾(当該車両の当初のグリッドは空けたまま)
上記3つの場合による2回以上のエンジン交換	決勝レースはピットスタート

#### タイヤ

1大会で1台につき使用できるドライタイヤは6セット(持ち越しタイヤ3、ニュータイヤ3)、ウェットタイヤは6セット。タイヤウォーマーは使用禁止。

### ■予選方法

予選は全戦ノックアウト方式で行われる。予選をQ1、Q2、Q3の3つのセッションに分け、Q1の上位14台の車両がQ2に進める。そしてQ2の上位8台がQ3に進み、上位8台の最終的な順位を決定する。1大会2レース制の場合、第1レースのグリッドはQ1の結果に基づく。予選通過基準はQ1で記録された1位のタイムの107%以内とする。

### ■スタート

スタートはスタンディングスタートで、グリッドは1×1のスタaggerドフォーメーション。正式スタートの前に1周のフォーメーションラップを行う。フォーメーションラップに発進できなかった車両は最後尾かピットスタートとなる。ただし、発進が遅れた車両で最後尾の車両がスタートラインを通過する前までに動き出せた場合は、フォーメーションラップ走行中に自ポジションまで戻ることができる。各車がグリッドに戻ったのちスタートシグナルのレッドライトが点灯し、その消灯がスタートとなる。



### ■ポイントシステム

各レースの成績に応じてドライバーとチームに得点が与えられ、今季は上位5戦の合計で最高得点者が全日本選手権保持者(チャンピオン)となる有効ポイント制を採用している(チームの得点は同一チームの車両のうち上位2台が対象)。同点の場合の順位は高得点を得た回数が多い順に決定。それでも同じ場合は、最終戦の前の大会の得点で決定する。それでも同じ場合は、さらにその前の大会の得点と遡って決める。得点の基準は以下のとおり。

- ・予選(ドライバーのみ) 1位:3点、2位:2点、3位:1点
- ・決勝 各レースの1位から10位までに下記のとおり。

決勝順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
ポイント	20	15	11	8	6	5	4	3	2	1

#### レースが途中で中止になった場合の扱い

先頭車両が2周終了前	得点は与えられない
先頭車両が2周以上～レース距離の75%未満	通常得点の半分
先頭車両がレース距離の75%以上	通常得点







# 2020 SUPER FORMULA 参加チーム&ドライバー



# VANTELIN TEAM TOM'S



トヨタのワークスドライバーだった舘信秀、トヨタディーラーのスポーツコーナー責任者だった大岩湛矢のふたりによって1974年に設立されたレーシングチーム。長き歴史のなかで日本はもとより世界でもさまざまなレースに参戦しており、多くの栄冠を手にしてきた。スーパーフォーミュラにも前身のフォーミュラ・ニッポン時代から参戦し、2011年にアンドレ・ロツテラーがチャンピオンを獲得。中嶋一貴が2012年・2014年に、2019年はニック・キャシディがチャンピオンに輝いた。チームチャンピオンも4回とトップチームとして君臨している。

チーム名	VANTELIN TEAM TOM'S バンテリン チーム トムス
監督	舘 信秀
会社名	株式会社トムス
所在地	〒412-0017 静岡県御殿場市塚原149-6 テクニカルセンター(第1工場) TEL:0550-89-8347 FAX:0550-89-8349
広報担当	渡辺 一郎 i.watanabe@tomsracing.jp
Website	<a href="https://www.tomsracing.co.jp/">https://www.tomsracing.co.jp/</a>
facebook	<a href="https://www.facebook.com/TOMSRacing.co.jp">https://www.facebook.com/TOMSRacing.co.jp</a>

チーム監督	舘 信秀
1号車エンジニア	小枝 正樹
36号車エンジニア	大立 健太

## Series Records [1996-2012: Formula NIPPON / 2013-: SUPER FORMULA]

シーズン	ドライバー	予選最高位	決勝最高位	ランキング	タイトル	
2006	A.ロツテラー／土屋武士	5位(2回)	優勝(2回)	2位／32ポイント		
2007	A.ロツテラー／荒 聖治	4位(2回)	優勝	4位／48ポイント		
2008	A.ロツテラー／荒 聖治	3位	優勝	3位／58ポイント		
2009	A.ロツテラー／大嶋和也	2位	優勝	2位／52ポイント		
2010	A.ロツテラー／大嶋和也	PP	優勝(2回)	2位／67ポイント		
2011	A.ロツテラー(Rd.2は井口卓人)／中嶋一貴	PP(2回)	優勝(6回)	1位／96ポイント	☆	★
2012	A.ロツテラー／中嶋一貴	PP(2回)	優勝(4回)	2位／76.5ポイント		★
2013	中嶋一貴／A.ロツテラー(Rd.1,7はJ.ロシター)	PP(2回)	優勝(4回)	1位／58.5ポイント	☆	
2014	A.ロツテラー(Rd.4はA.カルダレリ)／中嶋一貴	PP(4回)	優勝(4回)	1位／79.5ポイント	☆	★
2015	中嶋一貴(Rd.2は大嶋和也)／A.ロツテラー	PP(2回)	優勝(4回)	1位／80.5ポイント	☆	
2016	A.ロツテラー／中嶋一貴	PP	2位(5回)	2位／51ポイント		
2017	A.ロツテラー／中嶋一貴	PP(2回)	優勝(2回)	3位／41ポイント		
2018	中嶋一貴(Rd.5はJ-P.デ・オリベイラ)／J.ロシター	3位	3位	6位／15ポイント		
2019	中嶋一貴／N.キャシディ	3位	優勝(1回)	2位／48ポイント		★

☆:チームタイトル ★:ドライバータイトル

## 1 ニック・キャシディ

Nick Cassidy

VANTELIN KOWA TOM'S SF19  
TOYOTA/TRD TRD01F



- 生年月日 1994年8月19日
- 出身地 ニュージーランド
- 血液型 B型
- Website <http://easyinstagram.com/nickcassidy>

### Race Career

2008	ニュージーランド・フォーミュラ・ファースト・ウィンターシリーズ シリーズチャンピオン
2009	ニュージーランド・フォーミュラ・ファースト選手権 シリーズ2位(新人賞獲得)
2010	ニュージーランド・フォーミュラ・ファースト選手権 シリーズ2位(新人賞獲得)
2011	トヨタ・レーシング・シリーズ シリーズ2位(新人賞獲得)
2012	トヨタ・レーシング・シリーズ シリーズチャンピオン
2013	トヨタ・レーシング・シリーズ シリーズチャンピオン
2014	ユーロカップ・フォーミュラルノー 2.0 & FIA ヨーロッパF3選手権 スポット参戦 F3マカオGP 3位
2015	全日本F3選手権 シリーズチャンピオン F3マカオGP 12位
2016	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ5位 FIA ヨーロッパF3選手権 シリーズ4位
2017	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ10位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズチャンピオン
2018	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ2位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ2位
2019	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズチャンピオン SUPER GT (GT500クラス) シリーズ2位

### SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2017	No.3 KONDO RACING	10(8)	—
2018	No.3 KONDO RACING	2(37)	1
2019	No.37 VANTELIN TEAM TOM'S	1(36)	1

## 36 中嶋 一貴

Kazuki Nakajima

VANTELIN KOWA TOM'S SF19  
TOYOTA/TRD TRD01F



- 生年月日 1985年1月11日
- 出身地 愛知県
- 血液型 A型
- Website <http://www.kazuki-nakajima.com/>

### Race Career

2001	全日本カート選手権FAクラス シリーズ7位
2002	全日本カート選手権FAクラス シリーズ3位
2003	フォーミュラトヨタ シリーズチャンピオン(3勝)
2004	全日本F3選手権 シリーズ5位(2勝)
2005	全日本F3選手権 シリーズ2位 SUPER GT (GT300クラス) シリーズ8位
2006	ユーロF3シリーズ 7位(1勝) GP2シリーズ(フランスDAMS) シリーズ5位
2007	AT&Tウィリアムズテストドライバー / F1世界選手権最終戦ブラジルGP出場
2008	F1世界選手権(AT&Tウィリアムズ) シリーズ15位
2009	F1世界選手権(AT&Tウィリアムズ) シリーズ20位
2011	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ2位 ルーキー・オブ・ザ・イヤー獲得 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ8位
2012	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズチャンピオン SUPER GT (GT500クラス) シリーズ7位 FIA世界耐久選手権(LMP1) シリーズ13位
2013	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ4位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ3位 FIA世界耐久選手権(LMP1) シリーズ12位 全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズチャンピオン
2014	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ5位 FIA世界耐久選手権(LMP1) シリーズ8位
2015	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ2位 FIA世界耐久選手権 シリーズ7位
2016	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ6位 FIA世界耐久選手権 シリーズ8位 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ5位
2017	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ6位 FIA世界耐久選手権 シリーズ2位
2018	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ6位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ6位 FIA世界耐久選手権 LMP1クラス シリーズチャンピオン
2019	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ11位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ7位 ル・マン24時間レース 優勝
2019-20	FIA世界耐久選手権 LMP1クラス参戦中

### SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2011	No.37 PETRONAS TEAM TOM'S	2(42)	1
2012	No.2 PETRONAS TEAM TOM'S	1(46)	2
2013	No.1 PETRONAS TEAM TOM'S	4(24)	2
2014	No.37 PETRONAS TEAM TOM'S	1(46)	2
2015	No.1 PETRONAS TEAM TOM'S	2(45.5)	1
2016	No.37 VANTELIN TEAM TOM'S	6(22)	—
2017	No.37 VANTELIN TEAM TOM'S	5(22)	1
2018	No.36 VANTELIN TEAM TOM'S	6(15)	—
2019	No.36 VANTELIN TEAM TOM'S	11(12)	—

# KONDO RACING



タレントとして活躍するかたわら、レーシングドライバーとしてモータースポーツ界に身を投じた近藤真彦監督が率いるレーシングチーム。2000年からフォーミュラ・ニッポンに参戦を開始し、一時期は1台体制で参戦したものの、2015年からふたたび2台体制となった。2017年にニック・キャッシュディと山下健太を擁し躍進すると、2018年には初めてのチームチャンピオンを獲得した。2020年は、チームの大黒柱に成長した山下と、2019年に全日本F3選手権のチャンピオンを獲得したルーキーのサツシャ・フェネストラスのコンビで参戦する。

チーム名	KONDO RACING コンドーレーシング
監督	近藤 真彦
会社名	株式会社エムケイカンパニー
所在地	〒107-0052 東京都港区赤坂2-23-1 アークヒルズフロントタワー-RoP1104 TEL:03-6459-1360 FAX:03-6459-1306
広報担当	葉山 秀樹 hayama@mk-company.jp
Website	<a href="http://www.matchy.co.jp/">http://www.matchy.co.jp/</a>
facebook	<a href="https://www.facebook.com/KONDORacing">https://www.facebook.com/KONDORacing</a>

チーム監督	近藤 真彦
3号車エンジニア	阿部 和也
4号車エンジニア	田中 耕太郎

## Series Records [1996-2012: Formula NIPPON / 2013-: SUPER FORMULA]

シーズン	ドライバー	予選最高位	決勝最高位	ランキング	タイトル
2000	近藤真彦 / 土屋武士 (Rd.9)	14位	7位	— / 0ポイント	
2001	立川祐路 / 金石勝智	4位	2位	5位 / 34ポイント	
2002	荒 聖治 / 金石勝智	6位	7位	7位 / 3ポイント	
2003	立川祐路 / D.シュワガー	9位	3位	— / 0ポイント	
2004	道上 龍 / 立川祐路	3位	3位	6位 / 10ポイント	
2005	山本左近 / J.ヤニス (~Rd.3) / R.クインタレッリ (Rd.4~)	3位	2位	4位 / 21ポイント	
2006	山本左近 (Rd.3~) / 荒 聖治 (Rd.4~) / 柳田真孝	5位	4位	10位 / 4.5ポイント	
2007	柳田真孝 / J.P.デ・オリベイラ	3位	3位	7位 / 18ポイント	
2008	横溝直輝 / J.P.デ・オリベイラ	PP	優勝	5位 / 44ポイント	
2010	松田次生 (Rd.4~)	8位	8位	9位 / 1ポイント	
2011	A.カルダレッリ	10位	9位	— / 0ポイント	
2012	安田裕信	8位	9位	— / 0ポイント	
2013	安田裕信	13位	6位	9位 / 3.5ポイント	
2014	J.ロシター	3位	6位	5位 / 22ポイント	
2015	J.ロシター / W.ブラー	3位	2位	8位 / 5ポイント	
2016	J.ロシター / W.ブラー	4位	4位	8位 / 12ポイント	
2017	N.キャッシュディ / 山下健太	PP (2回)	3位	7位 / 12.5ポイント	
2018	N.キャッシュディ / 山下健太	PP (1回)	優勝 (1回)	1位 / 47.5ポイント	☆
2019	山下健太 / 国本雄資	PP (1回)	優勝 (1回)	6位 / 25ポイント	

☆: チームタイトル ★: ドライバータイトル

## 3 山下健太

Kenta Yamashita

ORIENTALBIO KONDO SF19  
TOYOTA/TRD TRD01F



- 生年月日 1995年8月3日
- 出身地 千葉県
- 血液型 AB型
- Website <http://kentayamashita.jp>

### Race Career

2007	モバワ 5StarCup(YAMAHA JUNIOR) シリーズチャンピオン
2008	Open Masters Kart (KRP JUNIOR) シリーズチャンピオン
2009	NTC CUPシリーズ(Jr.MAX) シリーズチャンピオン
2010	Open Masters Kart(ARTAチャレンジ) シリーズ2位
2011	全日本カート選手権(S-KF) シリーズ4位
2012	JAF地方選手権スーパーFJもてぎシリーズ チャンピオン
	CIK/FIA World Karting Championship KF1クラス出場 FINAL1-5位
	2013フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズチャンピオン
2014	JAF地方選手権F4東日本シリーズ シリーズチャンピオン
	全日本F3選手権 シリーズ2位
2015	全日本F3選手権シリーズ2位
	SUPER GT (GT300クラス) シリーズ20位
	インタープロトシリーズ シリーズ7位
2016	全日本F3選手権 シリーズチャンピオン
	F3マカオGP 4位
	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ11位
2017	SUPER GT (GT500クラス) スポット参戦(Rd.2) シリーズ20位
	SUPER GT (GT300クラス) シリーズ5位
	インタープロトシリーズ シリーズ2位
	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ8位
2018	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ11位
	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ5位
2019	SUPER GT (GT500クラス) シリーズチャンピオン

### SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2017	No.4 KONDO RACING	11 (6.5)	—
2018	No.4 KONDO RACING	8 (11.5)	—
2019	No.3 KONDO RACING	5 (21)	1

## 4 サッシャ・フェネストラズ

Sacha Fenestraz

ORIENTALBIO KONDO SF19  
TOYOTA/TRD TRD01F



- 生年月日 1999年7月28日
- 出身地 フランス
- 血液型 O型
- Website <https://www.sachafenestraz.com/>

### Race Career

2015	フランスF4選手権 シリーズ2位
2016	ユーロカップ・フォーミュラノー 2.0 シリーズ5位
	フォーミュラノー 2.0 NEC シリーズ5位
2017	フォーミュラノー・ユーロカップ シリーズチャンピオン
	フォーミュラノー NEC シリーズ16位
	FIA F3ヨーロッパ選手権 シリーズ20位
2018	マカオGP 7位
	FIA F3ヨーロッパ選手権 シリーズ11位
	マカオGP 3位
2019	GP3シリーズ シリーズ24位
	全日本F3選手権 シリーズチャンピオン
	SUPER GT (GT300クラス) シリーズ6位

### SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
------	------	------------	-----

# DOCOMO TEAM DANDELION RACING



京都に本拠を置き、1999年からフォーミュラ・ニッポンに参戦を続ける強豪チームのひとつ。2004年にリチャード・ライアンをドライバーズチャンピオンに導き、初めてのタイトルを獲得。2012年には伊沢拓也と塚越広大によって初めてのチームチャンピオンを手にした。2019年は山本尚貴と福住仁嶺を擁し2回目のチームタイトルに輝いたが、山本のドライバーズチャンピオンを逃し悔しいシーズンとなった。タイトルスポンサーのNTTドコモとともに、新世代の通信技術の開発にスーパーフォーミュラを活用するなどユニークな試みも行っている。

チーム名	<b>DOCOMO TEAM DANDELION RACING</b> ドコモ・チーム・ダンディライアン・レーシング
監督	吉田 則光
会社名	有限会社ダンディライアン
所在地	〒662-0076 兵庫県西宮市松生町18-24-101 TEL:0798-70-0048 FAX:0798-70-0049
広報担当	濱田 哲彌 t_hamada@dandelion-racing.com
Website	<a href="http://www.dandelion-racing.com/">http://www.dandelion-racing.com/</a>

チーム監督	吉田 則光
5号車エンジニア	杉崎 公俊
6号車エンジニア	吉田 則光

## Series Records [1996-2012: Formula NIPPON / 2013-: SUPER FORMULA]

シーズン	ドライバー	予選最高位	決勝最高位	ランキング	タイトル
1999	R.デルフレー	17位(2回)	9位	—/0ポイント	
2000	道上 龍	2位	7位	—/0ポイント	
2001	野田英樹/J.ヴィエルチューク/光貞秀俊	3位	11位	—/0ポイント	
2002	J.コシェ/R.ライアン	6位	2位	6位/6ポイント	
2003	R.ライアン/服部尚貴	3位(2回)	優勝	6位/23ポイント	
2004	R.ライアン/服部尚貴	PP(6回)	優勝(2回)	3位/40ポイント	★
2005	R.ライアン/服部尚貴	PP(2回)	優勝	2位/37ポイント	
2006	B.ビルドハイム/平中克幸/井出有治	4位	2位	5位/13.5ポイント	
2007	B.ビルドハイム/F.カルボーン	6位	2位	6位/20ポイント	
2008	松浦孝亮/土屋武士	3位	優勝	11位/7.5ポイント	
2009	R.ライアン/伊沢拓也	2位(2回)	2位	6位/25ポイント	
2010	L.デュバル/伊沢拓也	PP(2回)	優勝(2回)	4位/40.5ポイント	
2011	伊沢拓也/塚越広大	PP	3位(2回)	3位/36.5ポイント	
2012	伊沢拓也/塚越広大	PP(3回)	優勝(3回)	1位/78.5ポイント	☆
2013	伊沢拓也/武藤英紀	PP	優勝	7位/14ポイント	
2014	野尻智紀/武藤英紀	2位(2回)	優勝	6位/14ポイント	
2015	野尻智紀/N.カーティケヤン	2位(3回)	3位(3回)	5位/25ポイント	
2016	野尻智紀/S.バンドーン	PP(2回)	優勝(2回)	4位/36.5ポイント	
2017	野尻智紀/伊沢拓也	PP	6位	8位/6ポイント	
2018	野尻智紀/松下信治	PP	3位	5位/18.5ポイント	
2019	山本尚貴/福住仁嶺	PP(1回)	優勝(1回)	1位/50ポイント	☆

☆:チームタイトル ★:ドライバータイトル

## 5 山本 尚貴

Naoki Yamamoto

DOCOMO DANDELION M5S SF19  
HONDA/M-TEC HR-417E



- 生年月日 1988年7月11日
- 出身地 栃木県
- 血液型 B型
- Website <http://www.naoki-yamamoto.com/>

### Race Career

2002	全日本カート選手権FAクラス(7戦中5勝) チャンピオン
2003	ARTA (AUTOBACS RACING TEAM AGURI) 加入 全日本カート選手権東地域FAクラス第1・3戦に参戦 2戦共優勝
2004	FIK イタリアンオープンマスターズFAクラス シリーズ29位 CIK-FIA アジアパシフィック選手権ICAクラス 6位
2005	FIK イタリアンオープンマスターズFAクラス シリーズ5位 CIK-FIA 世界カート選手権FAクラス・ボルトガル大会12位
2006	鈴鹿サーキットレーシングスクール・フォーミュラ(SRS-F)
2007	フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズ2位
2008	全日本F3選手権 シリーズ5位
2009	全日本F3選手権Nクラス シリーズチャンピオン
2010	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ7位 ルーキー・オブ・ザ・イヤー獲得 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ8位 プロ・スポーツ大賞新人賞獲得
2011	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ11位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ9位
2012	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ11位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ5位
2013	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズチャンピオン SUPER GT (GT500クラス) シリーズ4位
2014	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ9位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ4位
2015	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ5位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ3位
2016	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ7位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ14位
2017	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ9位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ7位
2018	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズチャンピオン SUPER GT (GT500クラス) シリーズチャンピオン
2019	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ2位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ8位

### SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2010	No.31 NAKAJIMA RACING	7 (20.5)	—
2011	No.16 TEAM 無限	11 (5)	—
2012	No.16 TEAM 無限	11 (4)	—
2013	No.16 TEAM 無限	1 (37)	1
2014	No.1 TEAM 無限	9 (14.5)	—
2015	No.16 TEAM 無限	5 (26)	1
2016	No.16 TEAM 無限	7 (15.5)	1
2017	No.16 TEAM MUGEN	9 (10.5)	—
2018	No.16 TEAM MUGEN	1 (38)	3
2019	No.1 DOCOMO TEAM DANDELION RACING	2 (33)	1

## 6 福住仁嶺

Nirei Fukuzumi

DOCOMO DANDELION M6Y SF19  
HONDA/M-TEC HR-417E



- 生年月日 1997年1月24日
- 出身地 徳島県
- 血液型 B型
- Website [https://twitter.com/nirei\\_fukuzumi](https://twitter.com/nirei_fukuzumi)

### Race Career

2010	鈴鹿選手権シリーズJ-RMC チャンピオン
2011	鈴鹿選手権シリーズJ-RMC チャンピオン、ARTA Jr シリーズチャンピオン
2012	鈴鹿選手権シリーズRMCシリーズ チャンピオン、ARTAチャレンジ シリーズチャンピオン
2013	全日本カート選手権 KF1クラス シリーズチャンピオン 鈴鹿サーキットレーシングスクール・フォーミュラ(SRS-F) 卒業
2014	フォーミュラ4 FCクラス チャンピオン
2015	全日本F3選手権 4位
2016	GP3 シリーズ7位
2017	GP3 シリーズ3位
2018	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ参戦 FIAフォーミュラ2選手権 シリーズ17位
2019	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ7位 SUPER GT (GT300クラス) シリーズチャンピオン

### SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2018	No.15 TEAM MUGEN	— (0)	—
2019	No.6 DOCOMO TEAM DANDELION RACING	7 (18)	—

# carrozzeria Team KCMG



香港のレーシングチームであるKCMGは、世界各国のレースに挑戦し、その最高峰の挑戦として2010年からフォーミュラ・ニッポンに参戦を開始した。年々力をつけ、2017年からは小林可夢偉を擁し数多くのトップ争いを展開してきたが、なかなか優勝には達していない。2019年には、チームでドライブした経験を持つ松田次生を監督として迎え入れたほか、2020年からは新たに2台体制に変更。2016年のドライバーズチャンピオンである国本雄資を迎え入れることになった。年々チーム体制は強化されており、ポール・イップ代表に勝利を届ける日も近い。

チーム名	carrozzeria Team KCMG カロツツェリア チーム ケーシーエムジ
監督	松田 次生
会社名	株式会社ディーティーエム
所在地	〒410-1116 静岡県裾野市千福72-1 TEL:055-992-7000 FAX:055-922-7001
広報担当	石塚 麻衣 ishizuka@dtm-racing.com
Website	<a href="http://www.kcmg.com.hk/">http://www.kcmg.com.hk/</a>
facebook	<a href="https://www.facebook.com/KCMGLtd">https://www.facebook.com/KCMGLtd</a>

チーム監督	松田 次生
7号車エンジニア	笠井 明則
18号車エンジニア	高田 剛

## Series Records [1996-2012: Formula NIPPON / 2013-: SUPER FORMULA]

シーズン	ドライバー	予選最高位	決勝最高位	ランキング	タイトル
2010	平中克幸	8位	7位 (2回)	12位 / 4ポイント	
2011	A.インペラトーリ	12位	7位	9位 / 2.5ポイント	
2012	折目 遼	16位	15位	— / 0ポイント	
2013	R.ブラッドレー	18位	13位	— / 0ポイント	
2014	中山雄一	11位	10位	— / 0ポイント	
2015	中山雄一	4位	6位	11位 / 1.5ポイント	
2016	中山雄一	7位	9位	— / 0ポイント	
2017	小林可夢偉	3位	2位	6位 / 16.5ポイント	
2018	小林可夢偉 (Rd.5は中山雄一)	2位 (2回)	2位	9位 / 7ポイント	
2019	小林可夢偉	5位 (1回)	2位 (2回)	8位 / 19ポイント	

☆: チームタイトル ★: ドライバータイトル



## 7 小林 可夢偉

Kamui Kobayashi

KCMG Elyse SF19  
TOYOTA/TRD TRD01F



- 生年月日 1986年9月13日
- 出身地 兵庫県
- 血液型 AB型
- Website <http://www.kamui-kobayashi.com/>

### Race Career

2001	フォーミュラトヨタ・レーシングスクール(FTRS)受講 スカラシップ生に選出
2002	フォーミュラトヨタ参戦
2003	フォーミュラトヨタ シリーズ2位
2004	フォーミュラノーイタリア選手権 シリーズ7位(2勝)
2005	フォーミュラノーイタリア選手権 シリーズチャンピオン(6勝) フォーミュラニューユーロ選手権 シリーズチャンピオン(5勝)
2006	F3ユーロシリーズ 8位 F3マカオGP-予選レース優勝・ポールポジション獲得
2007	F3ユーロシリーズ 4位(1勝) GP2アジアシリーズ6位(2勝:日本人初優勝) GP2シリーズ16位(1勝:日本人初優勝)
2008	F1世界選手権(パナソニック・トヨタ・レーシング)サードドライバー F1世界選手権(パナソニック・トヨタ・レーシング) シリーズ18位
2009	GP2アジア シリーズチャンピオン(2勝) GP2 シリーズ16位(3位 表彰台1回)
2010	F1世界選手権(BMWザウバーF1チーム) シリーズ12位
2011	F1世界選手権(ザウバーF1チーム) シリーズ12位
2012	F1世界選手権(ザウバーF1チーム) シリーズ12位
2013	FIA世界耐久選手権(LMGTE) シリーズ7位
2014	F1世界選手権(ケータハムF1チーム) シリーズ22位
2015	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ6位 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ17位
2016	FIA世界耐久選手権 シリーズ3位(優勝1回) 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ7位 FIA世界耐久選手権 シリーズ5位
2017	SUPER GT (GT500クラス) スポット参戦(Rd.6) シリーズ17位 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ11位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ13位
2018	FIA世界耐久選手権 LMP1クラス シリーズ2位 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ6位 デイトナ24時間レース 総合優勝
2019-20	FIA世界耐久選手権 LMP1クラス参戦中

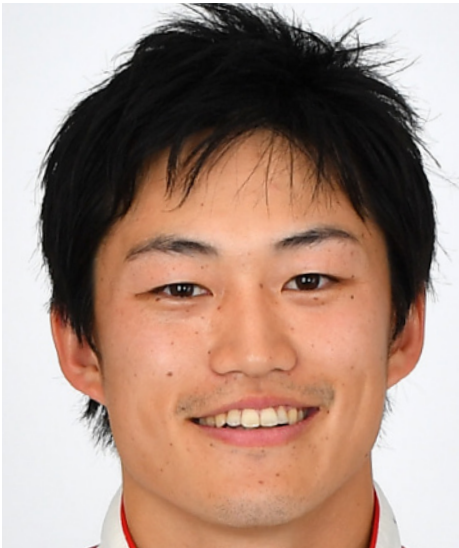
### SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2015	No.8 KYGNUS SUNOCO Team LeMans	6(20)	—
2016	No.8 SUNOCO Team LeMans	17(1)	—
2017	No.18 KCMG	7(16.5)	—
2018	No.18 carrozzeria Team KCMG	11(7)	—
2019	No.18 carrozzeria Team KCMG	6(19)	—

## 18 国本 雄資

Yuji Kunimoto

KCMG Elyse SF19  
TOYOTA/TRD TRD01F



- 生年月日 1990年9月12日
- 出身地 神奈川県
- 血液型 B型
- Website <http://mobile.twitter.com.yujikunimoto>

### Race Career

2004	全日本カート選手権 ICAクラス シリーズ7位
2005	全日本カート選手権 ICAクラス東地域チャンピオン 全日本カート選手権 ICAクラス シリーズ3位
2006	全日本カート選手権 FAクラス シリーズ8位
2007	フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズ4位 フォーミュラトヨタ スポット参戦
2008	フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズチャンピオン マカオグランプリフォーミュラBMWクラス5位
2009	全日本F3選手権Cクラス シリーズ3位 SUPER GT (GT300クラス) シリーズ8位
2010	全日本F3選手権Cクラス シリーズチャンピオン SUPER GT (GT300クラス) シリーズ4位
2011	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ10位 SUPER GT (GT300クラス) シリーズ7位
2012	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ13位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ13位
2013	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ10位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ5位
2014	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ7位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ7位
2015	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ9位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ9位 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズチャンピオン
2016	日本プロスポーツ大賞功労賞獲得 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ4位 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ8位
2017	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ14位 FIA世界耐久選手権 スポット参戦(Rd.2, 3) シリーズ29位
2018	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ9位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ11位
2019	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ17位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ11位

### SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2011	No.33 Project //cerumo・INGING	10(6.5)	—
2012	No.39 Project //cerumo・INGING	13(2)	—
2013	No.39 P.MU/CERUMO・INGING	10(10)	—
2014	No.39 P.MU/CERUMO・INGING	7(19.5)	—
2015	No.39 P.MU/CERUMO・INGING	9(7.5)	—
2016	No.2 P.MU/CERUMO・INGING	1(33)	2
2017	No.1 P.MU/CERUMO・INGING	8(16)	—
2018	No.2 JMS P.MU/CERUMO・INGING	9(11.5)	—
2019	No.4 KONDO RACING	17(5)	—

# ThreeBond Drago CORSE



全日本F3選手権や、FIAヨーロッパF3選手権に挑戦を続けて来たThreeBond Racingが、2014~2016年にスーパーフォーミュラに参戦した道上龍監督率いるDrago CORSEとともに、2020年から新たな挑戦として全日本スーパーフォーミュラ選手権に参戦することになった。チームとして1年目のドライバーとして起用することになったのは、2019年までFIA-F2選手権に参戦したコロンビア人女性ドライバーのタチアナ・カルデロンだ。国内トップフォーミュラではひさびさの女性ドライバーの参戦となり話題性は十分だが、成績でも上位進出を狙っていく。

チーム名	ThreeBond Drago CORSE スリーボンド・ドラゴコルセ
監督	道上 龍
会社名	有限会社ドラゴ
所在地	〒632-0005 奈良県天理市楢町128-2
広報担当	浦尾 哲 s-urao@threebond.co.jp
Website	<a href="https://www.threebond.co.jp/ja/companyinformation/sportssponsor/motorsports/superformula/">https://www.threebond.co.jp/ja/companyinformation/sportssponsor/motorsports/superformula/</a>
facebook	<a href="https://www.facebook.com/ThreeBond_Sports-395219060500772/">https://www.facebook.com/ThreeBond_Sports-395219060500772/</a>

チーム監督	道上 龍
12号車エンジニア	伊与木 仁

## Series Records [1996-2012: Formula NIPPON / 2013-: SUPER FORMULA]

シーズン	ドライバー	予選最高位	決勝最高位	ランキング	タイトル
------	-------	-------	-------	-------	------

## 12 タチアナ・カルデロン

Tatiana Calderón

ThreeBond Drago CORSE SF19  
Honda/M-TEC HR-417E



- 生年月日 1993年3月10日
- 出身地 コロンビア
- 血液型 O型
- Website <https://www.tatianacalderon.com/>

### Race Career

2013	FIA F3ヨーロッパ選手権 シリーズ32位 イギリスF3選手権 シリーズ9位
2014	FIA F3ヨーロッパ選手権 シリーズ15位
2015	FIA F3ヨーロッパ選手権 シリーズ27位
2015-16	MRFチャレンジ・フォーミュラ 2000 シリーズ2位 GP3 シリーズ21位
2016	ユーロフォーミュラ・オープン・チャンピオンシップ シリーズ9位 スペイン・フォーミュラ3 6位 F1世界選手権 ザウバー-F1チーム 開発ドライバー GP3 シリーズ18位
2017	フォーミュラノー 3.5 14位
2018	F1世界選手権 アルファロメオ・ザウバー-F1チーム テストドライバー GP3 シリーズ16位
2019	F1世界選手権 アルファロメオ・レーシング テストドライバー FIA F2選手権 シリーズ22位

### SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win

# ROOKIE Racing



スーパー耐久に、ドライバー“MORIZO”としてトヨタ自動車の豊田章男社長を擁し参戦しているROOKIE Racingが、2020年からさらに活動の場を広げて、SUPER GT GT500クラスとともに全日本スーパーフォーミュラ選手権にも1台体制で参戦することになった。ドライバーを務めるのは、2009年にフォーミュラ・ニッポンにデビューし、2017年から4年連続の参戦となる大嶋和也。今季からの新規参戦チームというかたちとなるが、メンテナンスの体制など強力なものとなっており、参戦1年目から好結果を残すポテンシャルは十分にある。

チーム名	ROOKIE Racing ルーキー レーシング
監督	片岡 龍也
会社名	株式会社インギング
所在地	〒745-0868 山口県周南市南浦山町2-2 TEL:0834-22-5248 FAX:0834-22-5212
広報担当	村上 翼 t-murakami@cerumo.co.jp
Website	
facebook	

チーム監督	片岡 龍也
14号車エンジニア	成澤 健二

## Series Records [1996-2012: Formula NIPPON / 2013-: SUPER FORMULA]

シーズン	ドライバー	予選最高位	決勝最高位	ランキング	タイトル
------	-------	-------	-------	-------	------

## 14 大嶋 和也

Kazuya Oshima

ROOKIE Racing PONOS SF19  
TOYOTA/TRD TRD01F



- 生年月日 1987年4月30日
- 出身地 群馬県
- 血液型 A型
- Twitter [https://twitter.com/oshima\\_kazuya](https://twitter.com/oshima_kazuya)

### Race Career

2001	全日本カート選手権FAクラスチャンピオン
2004	フォーミュラトヨタシリーズ2位
2005	フォーミュラトヨタシリーズチャンピオン
2006	全日本F3選手権 シリーズ2位 SUPER GT (GT300クラス)シリーズ15位
2007	全日本F3選手権 シリーズチャンピオン
2008	ユーロF3シリーズ参戦
2009	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ9位 SUPER GT (GT500クラス)シリーズ9位
2010	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ6位 SUPER GT (GT500クラス)シリーズ6位
2011	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ5位 SUPER GT (GT500クラス)シリーズ11位
2012	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ7位 SUPER GT (GT500クラス)シリーズ10位 ニルブルクリンク24時間レース クラス優勝 パンセン4時間耐久レース 総合優勝
2013	SUPER GT (GT500クラス)シリーズ5位 ニルブルクリンク24時間レース クラス2位
2014	SUPER GT (GT500クラス)シリーズ7位 ニルブルクリンク24時間レース クラス優勝 ニル耐久レースシリーズ クラス優勝
2015	全日本選手権スーパーフォーミュラ スポット参戦 (Rd.2) SUPER GT (GT500クラス)シリーズ9位 ニルブルクリンク24時間レース クラス優勝
2016	SUPER GT (GT500クラス)シリーズ2位 ニルブルクリンク24時間レース クラス優勝
2017	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ12位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ3位 インタープロトシリーズ シリーズ13位
2018	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ12位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ10位
2019	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ14位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズチャンピオン

### SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2009	No.37 PETRONAS TEAM TOM'S	9(13)	—
2010	No.37 PETRONAS TEAM TOM'S	6(24)	1
2011	No.7 Team LeMans	5(19)	—
2012	No.7 Team LeMans	7(21.5)	—
2017	No.8 SUNOCO TEAM LEMANS	12(6)	—
2018	No.8 UOMO SUNOCO TEAM LEMANS	12(6)	—
2019	No.8 UOMO SUNOCO TEAM LEMANS	14(7)	—

# TEAM MUGEN



長年レース用エンジンの開発や市販車のチューニング、さらにレース活動を行う古豪チーム。フォーミュラ・ニッポンには2010年から参戦を続けており、2013年、2018年と山本尚貴がドライバーズチャンピオンを獲得している。2017年からは2台体制に変更され、1台はレッドブルの若手有望ドライバーが乗り込んでいる。2017年に参戦したピエール・ガスリーは、その年のうちにF1へ巣立った。2020年は、所属2年目の野尻智紀と、2019年最終戦からスーパーフォーミュラに参戦を開始したユウリ・ビップスのコンビで新シーズンに挑む。

チーム名	TEAM MUGEN チーム・ムゲン
監督	中野 信治
会社名	株式会社M-TEC
所在地	〒351-8586 埼玉県朝霞市膝折町2-15-11 TEL:048-462-3151 FAX:048-462-3155
広報担当	野田 和宏 kazuhiko_noda@mugen-power.com
Website	<a href="http://www.mugen-power.com/">http://www.mugen-power.com/</a>
facebook	<a href="https://www.facebook.com/mugen1973/">https://www.facebook.com/mugen1973/</a>

チーム監督	中野 信治
15号車エンジニア	ライアン・ディングル
16号車エンジニア	一瀬 俊浩

## Series Records [1996-2012: Formula NIPPON / 2013-: SUPER FORMULA]

シーズン	ドライバー	予選最高位	決勝最高位	ランキング	タイトル
2010	井出有治	8位	8位(2回)	10位/1ポイント	
2011	山本尚貴	PP	5位	7位/4ポイント	
2012	山本尚貴/佐藤琢磨(Rd.6,7)	4位	7位	8位/4ポイント	
2013	山本尚貴/佐藤琢磨(Rd.1,6,7)/小林崇志(Rd.2-4)	PP(2回)	優勝	4位/32.5ポイント	★
2014	山本尚貴/中山友貴	PP(2回)	5位	7位/12.5ポイント	
2015	山本尚貴	PP(2回)	優勝	6位/21ポイント	
2016	山本尚貴	PP	優勝	6位/14.5ポイント	
2017	P.ガスリー/山本尚貴	3位(2回)	優勝(2回)	2位/43.5ポイント	
2018	福住仁嶺(Rd.2は坂口晴南、Rd.3-4はD.ティクトゥム)/山本尚貴	PP(2回)	優勝(3回)	3位/33ポイント	★
2019	D.ティクトゥム(Rd.1-3)・P.オワード(Rd.4-6)・J.ビップス(Rd.7)/野尻智紀	2位(2回)	優勝(1回)	5位/25ポイント	

☆:チームタイトル ★:ドライバータイトル

## 15 ユーリ・ビップス

Juri Vips

TEAM MUGEN SF19  
HONDA/M-TEC HR-417E



- 生年月日 2000年8月10日
- 出身地 エストニア
- 血液型 A型
- Website <https://www.jurivips.com/>

### Race Career

2016	ドイツF4選手権 シリーズ6位 イタリアF4選手権 シリーズ5位
2016-17	IMRFチャレンジ・フォーミュラ 2000 6位 ドイツF4選手権 シリーズチャンピオン イタリアF4選手権 参戦
2017	FIA F3ヨーロッパ選手権 参戦
2018	FIA F3ヨーロッパ選手権 シリーズ4位 マカオGP 19位
2019	全日本スーパーフォーミュラ選手権 スポット参戦 FIA F3選手権 シリーズ4位 マカオGP 2位

### SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2019	No.15 TEAM MUGEN	-(0)	-

## 16 野尻 智紀

Tomoki Nojiri

TEAM MUGEN SF19  
Honda/M-TEC HR-417E



- 生年月日 1989年9月15日
- 出身地 茨城県
- 血液型 B型
- Twitter [https://twitter.com/tomoki\\_nojiri](https://twitter.com/tomoki_nojiri)

### Race Career

2008	鈴鹿サーキットレーシングスクール・フォーミュラ(SRS-F) 首席卒業
2009	フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズ5位 F4西日本シリーズ5位
2010	フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズ5位
2011	全日本F3選手権 Nクラス シリーズ2位
2012	全日本F3選手権 シリーズ5位
2013	全日本F3選手権 シリーズ4位
2014	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ10位 ルーキー・オブ・ザ・イヤー獲得 SUPER GT (GT300クラス) シリーズ10位
2015	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ7位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ14位
2016	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ9位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ15位
2017	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ17位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ9位
2018	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ7位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ3位
2019	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ4位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ10位

### SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2014	No.40 DOCOMO TEAM DANDELION RACING	10(10)	1
2015	No.40 DOCOMO TEAM DANDELION RACING	7(19)	-
2016	No.40 DOCOMO TEAM DANDELION RACING	9(14.5)	-
2017	No.40 DOCOMO TEAM DANDELION RACING	17(2)	-
2018	No.40 DOCOMO TEAM DANDELION RACING	7(12.5)	-
2019	No.16 TEAM MUGEN	4(24)	1

# ITOCHU ENEX TEAM IMPUL



開将・星野一義監督率いるレーシングチームで、全日本F2選手権として開催されていた1983年から国内トップフォーミュラのトップチームのひとつとして君臨する。これまでの長い歴史のなかでチャンピオンを獲得した回数も非常に多く、全日本F3000選手権の1987年に星野が初タイトルを得ており、その後もドライバーズチャンピオンは11回、チームタイトルも7回を誇る。2020年もITOCHU ENEXの強力なサポートを得て、チーム在籍4年目の関口雄飛、3年目の平川亮という切れ味あるスピードをもつふたりのドライバーとともに王座奪還を目指す。

チーム名	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL イトウチュウエネクス チーム インパル
監督	星野 一義
会社名	有限会社ホシノレーシング
所在地	〒156-0054 東京都世田谷区桜丘5-32-3 TEL:03-3439-1122(代) FAX:03-3439-5522
広報担当	高橋 紳一郎 takahashi@teamimpul.com
Website	<a href="http://www.impul.co.jp/">http://www.impul.co.jp/</a>
facebook	<a href="https://www.facebook.com/IMPUL.official">https://www.facebook.com/IMPUL.official</a>

チーム監督	星野 一義
19号車エンジニア	柏木 良仁
20号車エンジニア	大塚 俊臣

## Series Records [1996-2012: Formula NIPPON / 2013-: SUPER FORMULA]

シーズン	ドライバー	予選最高位	決勝最高位	ランキング	タイトル
1996	鈴木利男／星野一義	PP(2回)	優勝	2位／38ポイント	
1997	黒澤琢弥／影山正彦	PP	優勝	2位／44ポイント	
1998	黒澤琢弥／影山正彦	PP	優勝(2回)	4位／27ポイント	
1999	影山正美／野田英樹	2位	優勝	3位／24ポイント	
2000	本山 哲	PP	優勝	3位／34ポイント	
2001	本山 哲／N.カーティケヤン	PP(3回)	優勝(4回)	2位／51ポイント	★
2002	本山 哲／M.クルム	PP	優勝(5回)	2位／60ポイント	
2003	本山 哲／B.トレレイエ	PP(5回)	優勝(6回)	1位／91ポイント	☆
2004	B.トレレイエ／井出有治	PP(2回)	優勝(3回)	1位／62ポイント	☆
2005	B.トレレイエ／井出有治／本山 哲	PP(5回)	優勝(6回)	1位／101ポイント	☆
2006	B.トレレイエ／松田次生	PP(4回)	優勝(5回)	1位／88ポイント	☆
	本山 哲／星野一樹	2位(4回)	3位(4回)	4位／16ポイント	
2007	B.トレレイエ／松田次生	PP(4回)	優勝	1位／91ポイント	☆
	本山 哲／M.クルム	PP	優勝(3回)	3位／50ポイント	★
2008	松田次生／B.トレレイエ	PP(5回)	優勝(4回)	1位／114.5ポイント	☆
	平手晃平(Rd.7はR.リアン)	4位(2回)	優勝	6位／42ポイント	
2009	松田次生／B.トレレイエ	PP	優勝	3位／50ポイント	
	平手晃平	PP	3位	4位／31ポイント	
2010	J.P.デ・オリベイラ／平手晃平	PP(2回)	優勝(3回)	1位／68ポイント	☆
2011	J.P.デ・オリベイラ／平手晃平	PP(2回)	優勝	2位／41ポイント	★
2012	J.P.デ・オリベイラ／松田次生	PP(3回)	優勝	3位／51.5ポイント	
2013	J.P.デ・オリベイラ／松田次生	2位(2回)	2位	3位／37.5ポイント	
2014	J.P.デ・オリベイラ／N.カーティケヤン	PP(2回)	優勝(3回)	4位／39.5ポイント	
2015	J.P.デ・オリベイラ／A.カルダレッリ	PP	優勝	3位／37ポイント	
2016	J.P.デ・オリベイラ／関口雄飛	PP(2回)	優勝(2回)	3位／42ポイント	
2017	関口雄飛／J.マーデンポロー	PP(2回)	優勝(2回)	5位／27.5ポイント	
2018	関口雄飛／平川 亮	PP(2回)	優勝(1回)	4位／33ポイント	
2019	関口雄飛／平川 亮	PP	優勝(2回)	4位／27ポイント	

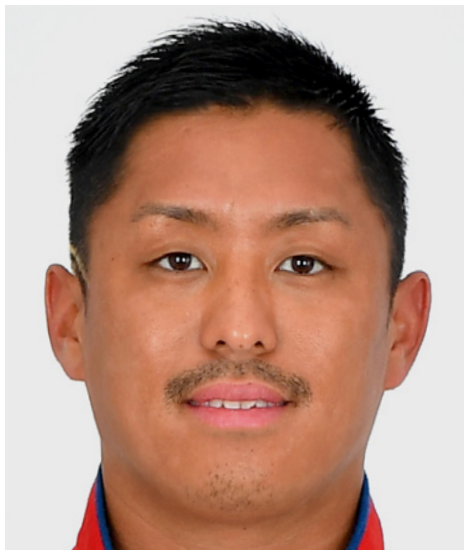
☆:チームタイトル ★:ドライバータイトル



## 19 関口 雄飛

Yuhi Sekiguchi

ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF19  
TOYOTA/TRD TRD01F



- 生年月日 1987年12月29日
- 出身地 東京都
- 血液型 AB型
- Website <http://yuhi-muteki.net/>

### Race Career

2002	全日本カート選手権・ICAクラス シリーズチャンピオン
2004	フォーミュラ・トヨタ シリーズ3位
2005	フォーミュラ・トヨタ シリーズ5位
2006	フォーミュラ・トヨタ シリーズチャンピオン FCJ シリーズチャンピオン
2007	全日本F3選手権 シリーズ7位 SUPER GT (GT300クラス) シリーズ10位
2008	SUPER GT (GT300クラス) シリーズ37位
2009	全日本F3選手権(Nクラス) シリーズ5位 SUPER GT (GT300クラス) シリーズ22位
2010	全日本F3選手権(Cクラス) シリーズ2位 SUPER GT (GT300クラス) シリーズ9位
2011	全日本F3選手権(Cクラス) シリーズチャンピオン SUPER GT (GT300クラス) シリーズ13位
2012	SUPER GT (GT300クラス) シリーズ6位
2013	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ12位 インタープロトシリーズ シリーズ2位
2014	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ13位
2015	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ11位 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ3位
2016	日本プロスポーツ大賞新人賞受賞 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ4位 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ4位
2017	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ13位 インタープロトシリーズ シリーズチャンピオン
2018	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ4位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ5位
2019	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ8位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ7位

### SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2016	No.20 ITOCHU ENEX TEAM IMPUL	3 (28.5)	2
2017	No.19 ITOCHU ENEX TEAM IMPUL	4 (25)	2
2018	No.19 ITOCHU ENEX TEAM IMPUL	4 (18)	1
2019	No.19 ITOCHU ENEX TEAM IMPUL	8 (16)	1

## 20 平川 亮

Ryo Hirakawa

ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF19  
TOYOTA/TRD TRD01F



- 生年月日 1994年3月7日
- 出身地 広島県
- 血液型 O型
- Twitter <https://twitter.com/ryohirakawa>

### Race Career

2008	全日本ジュニアカート選手権 ジュニアクラス シリーズチャンピオン 全日本カート選手権 KF2クラスシリーズ フォーミュラトヨタ・レーシングスクール(FTRS)受講 フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズ6位
2009	スーパーFJ 日本一決定戦優勝 JAF地方選手権スーパーFJ岡山シリーズチャンピオン フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズ2位 F4 西日本シリーズチャンピオン
2012	全日本F3選手権Cクラス シリーズチャンピオン フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズ2位 ボルシェカレラカップジャパン シリーズチャンピオン
2013	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ11位 インタープロトシリーズ プロフェッショナルクラスチャンピオン
2014	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ8位 SUPER GT (GT500クラス) スポット参戦(Rd.2, 3) シリーズ20位 スーパー耐久(ST-1クラス) シリーズチャンピオン インタープロトシリーズ プロフェッショナルクラスチャンピオン
2015	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ8位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ5位 インタープロトシリーズ プロフェッショナルクラスチャンピオン
2016	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ9位 ヨーロッパ・ルマンシリーズ(LMP2) シリーズ5位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズチャンピオン
2017	ヨーロッパ・ルマンシリーズ(LMP2) シリーズ4位 インタープロトシリーズ シリーズ8位
2018	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ5位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ2位
2019	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ10位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ2位

### SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2013	No.7 KYGNUS SUNOCO Team LeMans	11 (9)	—
2014	No.7 KYGNUS SUNOCO Team LeMans	8 (16.5)	—
2015	No.7 KYGNUS SUNOCO Team LeMans	8 (13)	—
2018	No.20 ITOCHU ENEX TEAM IMPUL	5 (17)	—
2019	No.20 ITOCHU ENEX TEAM IMPUL	10 (12)	1

# JMS P.MU/CERUMO・INGING



1991年に全日本F3000選手権に参戦を開始したセルモ、2006年からフォーミュラ・ニッポンに参戦を開始したインギングの合同チームとして2008年からCERUMO/INGINGとして戦っている。2015年には、石浦宏明が自身にとってもチームにとっても初めてのチャンピオンを獲得。2016年には国本雄資が、2017年にはふたたび石浦が王座へ。チームとしても2016年、2017年と連覇を飾っており、近年のスーパーフォーミュラでも屈指のトップチームのひとつと言える。2020年は石浦とチーム在籍2年目の坪井翔のコンビを継続してチャンピオン奪回を狙う。

チーム名	<b>JMS P.MU/CERUMO・INGING</b> ジェームス ピーエムユーセルモインギング
監督	立川 祐路
会社名	株式会社インギング
所在地	〒745-0868 山口県周南市南浦山町2-2 TEL:0834-22-5248 FAX:0834-22-5212
広報担当	村田 淳一 murata@cerumo.co.jp
Website	<a href="http://www.inging.co.jp/">http://www.inging.co.jp/</a>
facebook	<a href="https://www.facebook.com/ingingmotorsport">https://www.facebook.com/ingingmotorsport</a>

チーム監督	立川 祐路
38号車エンジニア	村田 卓児
39号車エンジニア	菅沼 芳成

## Series Records [1996-2012: Formula NIPPON / 2013-: SUPER FORMULA]

シーズン	ドライバー	予選最高位	決勝最高位	ランキング	タイトル
1996	羽根幸浩	14位	12位	—/0ポイント	
1997	光貞秀俊/S.カヴァナ/柴原眞介/M.クルム	3位(2回)	3位(3回)	5位/20ポイント	
1998	野田英樹/飯田 章	PP	3位	7位/11ポイント	
1999	立川祐路/飯田 章	4位	4位	10位/6ポイント	
2000	立川祐路/J.ヴィエルチューク	3位(3回)	4位(3回)	7位/9ポイント	
2001	影山正美/荒 聖治	7位(2回)	3位	7位/16ポイント	
2002	B.トレルイエ/立川祐路	8位(2回)	6位	9位/1ポイント	
2003	松田次生/井出有治	3位	2位	5位/26ポイント	
2004	松田次生/影山正美	5位	4位(2回)	7位/7ポイント	
2005	平中克幸/高木虎之介	2位	6位(2回)	7位/2ポイント	
2006	立川祐路(CERUMO)	5位	4位(2回)	8位/10ポイント	
	R.クインタレリ/横溝直輝(INGING)	2位	4位	9位/6ポイント	
2007	立川祐路(CERUMO)	4位	5位	9位/7ポイント	
	立川祐路/佐々木孝太(RECKLESS CERUMO)	7位	6位	11位/4ポイント	
	R.クインタレリ/横溝直輝(INGING)	2位	優勝	5位/27ポイント	
2008	R.クインタレリ/立川祐路	5位	3位	4位/52.5ポイント	
2009	立川祐路	8位	5位	10位/1ポイント	
2010	井口卓人	13位	6位	8位/3ポイント	
2011	国本雄資	8位	4位	6位/6.5ポイント	
2012	平手晃平/国本雄資	4位	5位	6位/10ポイント	
2013	平手晃平/国本雄資	2位	2位	5位/21ポイント	
2014	石浦宏明/国本雄資	2位	2位(2回)	3位/45.5ポイント	
2015	石浦宏明/国本雄資	PP(3回)	優勝(2回)	2位/56ポイント	★
2016	石浦宏明/国本雄資	PP(3回)	優勝(3回)	1位/54ポイント	☆ ★
2017	国本雄資/石浦宏明	PP(2回)	優勝(1回)	1位/47.5ポイント	☆ ★
2018	石浦宏明/国本雄資	PP(1回)	優勝(1回)	2位/35.5ポイント	
2019	石浦宏明/坪井 翔	2位(2回)	2位(1回)	7位/22ポイント	

☆:チームタイトル ★:ドライバータイトル

## 38 石浦 宏明

Hiroaki Ishiura

JMS P.MU/CERUMO・INGING SF19  
TOYOTA/TRD TRD01F



- 生年月日 1981年4月23日
- 出身地 東京都
- 血液型 AB型
- Website <http://ameblo.jp/ishiura/>

### Race Career

2003	フォーミュラトヨタ シリーズ4位
2004	フォーミュラトヨタ シリーズ6位
2005	フォーミュラトヨタ シリーズ3位 GC-21シリーズチャンピオン
2006	全日本F3選手権 シリーズ9位
2007	全日本F3選手権 シリーズ4位 SUPER GT (GT300クラス) シリーズチャンピオン 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ16位
2008	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ15位
2009	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ6位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ9位
2010	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ8位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ6位
2011	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ6位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ7位 ニルブルクリンク24時間レース クラス3位
2012	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ3位 ニルブルクリンク24時間レース クラス優勝
2013	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ7位 ニルブルクリンク24時間レース クラス2位
2014	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ5位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ13位 ニルブルクリンク24時間レース クラス優勝
2015	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズチャンピオン SUPER GT (GT500クラス) シリーズ4位 インタープロトシリーズ シリーズ3位 ニルブルクリンク24時間レース SP-PROクラス優勝
2016	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ5位 日本プロスポーツ大賞功労賞受賞 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ6位 インタープロトシリーズ シリーズ5位
2017	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズチャンピオン SUPER GT (GT500クラス) シリーズ4位 インタープロトシリーズ シリーズ5位
2018	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ3位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ4位
2019	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ13位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ4位

### SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2008	No.8 Team LeMans	16(9)	—
2009	No.8 Team LeMans	6(30)	—
2010	No.8 Team LeMans	8(16)	—
2011	No.8 Team KYGNUS SUNOCO	6(17)	—
2014	No.38 P.MU/CERUMO・INGING	5(26)	—
2015	No.38 P.MU/CERUMO・INGING	1(51.5)	2
2016	No.1 P.MU/CERUMO・INGING	5(27)	1
2017	No.2 P.MU/CERUMO・INGING	1(33.5)	1
2018	No.1 JMS P.MU/CERUMO・INGING	3(25)	1
2019	No.38 JMS P.MU/CERUMO・INGING	13(10)	—

## 39 坪井 翔

Sho Tsuboi

JMS P.MU/CERUMO・INGING SF19  
TOYOTA/TRD TRD01F



- 生年月日 1995年5月21日
- 出身地 埼玉県
- 血液型 A型
- Website <http://xyz-one.jp/tsuboi/>

### Race Career

2012	フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズ7位
2013	フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズ5位
2014	F4地方選手権 シリーズチャンピオン
2015	FIA F4選手権 シリーズチャンピオン インタープロトシリーズ 9位
2016	全日本F3選手権 シリーズ3位 インタープロトシリーズ 2位 全日本F3選手権 シリーズ2位
2017	SUPER GT (GT300クラス) シリーズ3位 スーパー耐久シリーズ ST4クラス チャンピオン インタープロトシリーズ 3位
2018	全日本F3選手権 シリーズチャンピオン SUPER GT (GT300クラス) シリーズ7位 スーパー耐久シリーズ ST4クラス チャンピオン インタープロトシリーズ 5位
2019	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ12位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ11位

### SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2019	No.39 JMS P.MU/CERUMO・INGING	12(12)	—

# Buzz Racing with B-Max



2010年に屏風ヶ浦工業（株）のレース事業部としてB-MAX ENGINEERINGが設立され、2014年に車両事業部としてB-MAX RACING TEAMを設立。全日本F3選手権を中心にマカオGPにも挑戦するなど急成長を遂げてきた。2017年からは全日本スーパーフォーミュラ選手権にも参戦を開始し、2019年からドイツのレーシングチームであるモトパークと提携。日独混成チームとして大きなポテンシャルアップを果たした。2020年は昨年に続き外国人ドライバーを2名起用。FIA-F2上位のセルジオ・セット・カマラと、全日本F3出身のシャルル・ミレッシが参戦する。

チーム名	Buzz Racing with B-Max バズ レーシング ウィズ ビーマックス
監督	長谷川 謙一
会社名	B-MAX RACING 株式会社
所在地	〒252-1107 神奈川県綾瀬市深谷中8-8-2 TEL:0467-39-5960 FAX:0467-39-5940
広報担当	宮脇 透 t-miyawaki@b-maxracing.co.jp
Website	http://www.b-maxracingteam.com

チーム監督	長谷川 謙一
50号車エンジニア	吉田 正幸
51号車エンジニア	ポール・アンドレ・フェラー

## Series Records [1996-2012: Formula NIPPON / 2013-: SUPER FORMULA]

シーズン	ドライバー	予選最高位	決勝最高位	ランキング	タイトル
2017	小暮卓史	7位	12位	—/0ポイント	
2018	千代勝正	13位	10位	—/0ポイント	
2019	L.アウアー/H.ニューウェイ	3位(2回)	3位(2回)	8位/20ポイント	

☆:チームタイトル ★:ドライバータイトル

## 50 セルジオ・セッテ・カマラ

Sergio Sette Camara

Buzz Racing SF19  
Honda/M-TEC HR-417E



- 生年月日 1998年5月23日
- 出身地 ブラジル
- 血液型
- Website <https://www.sergiosettecamara.com/>

### Race Career

2014	FIA F3ヨーロッパ選手権 参戦
	ブラジルF3選手権 シリーズ7位
2015	FIA F3ヨーロッパ選手権 シリーズ14位
	マスターズF3 3位
	マカオGP 22位
2016	トヨタ・レーシング・シリーズ シリーズ20位
	F1世界選手権 スクーデリア・トロ・ロソ テスト&開発ドライバー
	FIA F3ヨーロッパ選手権 シリーズ11位
	マスターズF3 3 3位
2017	マカオGP 3位
	FIA F2選手権 シリーズ12位
2018	マカオGP 13位
	FIA F2選手権 シリーズ6位
2019	F1世界選手権 マクラーレンF1チーム テスト&開発ドライバー
	FIA F2選手権 シリーズ4位

### SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win

## 51 シャルル・ミレス

Charles Milesi

GOLDEX Racing SF19  
Honda/M-TEC HR-417E



- 生年月日 2001年3月4日
- 出身地 フランス
- 血液型 A型
- Website <https://www.facebook.com/CharlesMilesiRacing/>

### Race Career

2016	WSK Champions Cup - OK Junior 4位
	WSK Super Master Series OK Jr 13位
	CIK-FIA European Championship OK Junior 12位
2017	ドイツ・ジュニアカート選手権 シリーズ2位
	フランスF4選手権 シリーズ7位
2018	フォーミュラノー 2.0 NEC 7位
	トヨタ・レーシング・シリーズ シリーズ11位
	ユーロカップ・フォーミュラノー シリーズ7位
2019	フォーミュラノー・北ヨーロッパカップ スポット参戦
	全日本F3選手権 シリーズ9位

### SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win

# TCS NAKAJIMA RACING



日本人初のフルタイムF1ドライバーである中嶋悟が、自身のチームとして立ち上げた。1984年に中嶋自身を擁し全日本F2に参戦を開始すると、3年連続でチャンピオンを獲得し中嶋はF1へ。チームはその後も国内トップフォーミュラに参戦を続け、現在に至るまでドライバーズチャンピオンを7回、チームチャンピオンを4回獲得している。2020年は、タタ・コンサルタンシー・サービスのバックアップを得て、若手の牧野任祐と、ルーキーの大湯都史樹のふたりで参戦。大湯は開幕前のテストでも速さをみせており、チームの黄金期復活に期待がかかる。

チーム名	TCS NAKAJIMA RACING ティーシーエス・ナカジマレーシング
監督	中嶋 悟
会社名	有限会社中嶋企画
所在地	東京都渋谷区渋谷3-5-1 渋谷グランドハイツ1104号 TEL:03-3486-4258 FAX:03-3486-4259
広報担当	山田 美紀 yamada@nakajimaring.co.jp
Website	http://www.nakajimaring.co.jp/
facebook	https://www.facebook.com/nakajimaring

チーム監督	中嶋 悟
64号車エンジニア	加藤 祐樹
65号車エンジニア	岡田 淳

## Series Records [1996-2012: Formula NIPPON / 2013-: SUPER FORMULA]

シーズン	ドライバー	予選最高位	決勝最高位	ランキング	タイトル	
1996	高木虎之介 / 黒澤琢弥	PP(4回)	優勝(2回)	3位 / 35ポイント		
1997	高木虎之介 / 山西康司	PP(3回)	優勝	4位 / 20ポイント		
1998	山西康司 / T.コロネル	2位	4位	8位 / 10ポイント		
1999	T.コロネル / 光貞秀俊	PP(5回)	優勝(5回)	1位 / 81ポイント	☆	★
2000	高木虎之介 / 松田次生	PP(6回)	優勝(9回)	1位 / 113ポイント	☆	★
2001	松田次生 / R.ファーマン	PP(2回)	優勝(2回)	4位 / 37ポイント		
2002	R.ファーマン / 松田次生	PP(2回)	優勝(4回)	1位 / 81ポイント	☆	★
2003	小暮卓史 / A.ロッテラー	PP	2位(3回)	3位 / 33ポイント		
2004	A.ロッテラー / 小暮卓史	2位	優勝(3回)	2位 / 50ポイント		
2005	A.ロッテラー / 小暮卓史	PP	優勝(2回)	3位 / 35ポイント		
2006	L.デュバル / 武藤英紀	4位	優勝(2回)	3位 / 26ポイント		
2007	L.デュバル / 小暮卓史	PP(4回)	優勝(3回)	2位 / 72ポイント		
2008	L.デュバル / 小暮卓史	2位(2回)	優勝(2回)	2位 / 103ポイント		
2009	L.デュバル / 小暮卓史	PP(5回)	優勝(6回)	1位 / 93ポイント	☆	★
2010	山本尚貴 / 小暮卓史	PP(2回)	優勝(1回)	3位 / 56.5ポイント		
2011	中嶋大祐 / 小暮卓史	2位	2位	5位 / 18.5ポイント		
2012	中嶋大祐 / 小暮卓史	5位	4位	7位 / 4ポイント		
2013	中嶋大祐 / 小暮卓史	2位(2回)	2位(2回)	5位 / 21ポイント		
2014	中嶋大祐 / 小暮卓史	10位	5位	9位 / 4ポイント		
2015	中嶋大祐 / B.バケット	3位	5位	7位 / 7ポイント		
2016	中嶋大祐 / B.バケット	4位(2回)	2位	5位 / 15ポイント		
2017	中嶋大祐 / N.カーティケヤン	4位	7位	10位 / 2ポイント		
2018	N.カーティケヤン / 伊沢拓也	4位(2回)	5位(2回)	8位 / 8ポイント		
2019	A.バロウ / 牧野任祐	PP(4回)	優勝(1回)	3位 / 28ポイント		

☆:チームタイトル ★:ドライバータイトル

## 64 牧野 任祐

Tadasuke Makino

TCS NAKAJIMA RACING SF19  
Honda/M-TEC HR-417E



- 生年月日 1997年6月28日
- 出身地 大阪府
- 血液型 O型
- Website <http://team-tadasuke.com/>

### Race Career

2011	全日本カート選手権 FS125クラスシリーズ チャンピオン
2012	全日本カート選手権 KF-1クラスシリーズ 4位
2013	全日本カート選手権 KF-1クラスシリーズ 6位
2014	JAF地方選手権Super-J 岡山シリーズ チャンピオン
	Super-FJ ドリームカップレース 優勝
2015	Super-FJ 日本一決定戦 優勝
	FIA F4選手権 シリーズ 2位
	JAF F4 東日本シリーズ チャンピオン
	JAF F4 西日本シリーズ チャンピオン
2016	JAF F4 日本シー 決定戦 優勝
	全日本F3選手権 Cクラス シリーズ 5位
2017	SUPER GT (GT300クラス) スポット参戦
2017	FIA Formula3 European Championship 15位
2018	FIA Formula2 Championship 13位
2019	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ16位
	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ12位

### SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2019	No.65 TCS NAKAJIMA RACING		

## 65 大湯 都史樹

Toshiki Oyuu

TCS NAKAJIMA RACING SF19  
Honda/M-TEC HR-417E



- 生年月日 1998年8月4日
- 出身地 北海道
- 血液型 B型
- Website <https://toshiki-oyuu.com/wp/>

### Race Career

2011	ROK international FINAL 世界選手権 junior rokクラス 日本人初3位
	OPENMASTARE'S ARTA CHALLENGE クラス シリーズ2位
2012	鈴鹿選手権シリーズ junior RMC クラス シリーズチャンピオン
	OPENMASTARE'S ARTA CHALLENGE クラス シリーズ2位
2013	地方カート選手権 西地域 FS-125 クラス シリーズ3位
	全日本カート選手権 KF-2クラス シリーズ3位
2014	PETRONAS CHALLENGE シリーズ8位
	全日本カート選手権 KFクラス シリーズ7位
2015	PETRONAS CHALLENGE シリーズ3位
	Super-FJ 日本一決定戦 2位
2016	Super-FJ 岡山チャレンジカップ シリーズチャンピオン
	全日本カート選手権 KFクラス シリーズ8位
2017	FIA F4 選手権 3位
	JAF F4 東地区 シリーズチャンピオン
2018	JAF F4 西地区 シリーズチャンピオン
	JAF F4 選手権 シリーズ4位
2018	全日本F3選手権 シリーズ6位
2019	全日本F3選手権 シリーズ4位

### SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
------	------	------------	-----

# ツインリンクもてぎ

## TWINRING MOTEGI

第1戦 8月29日(土)・30日(日)

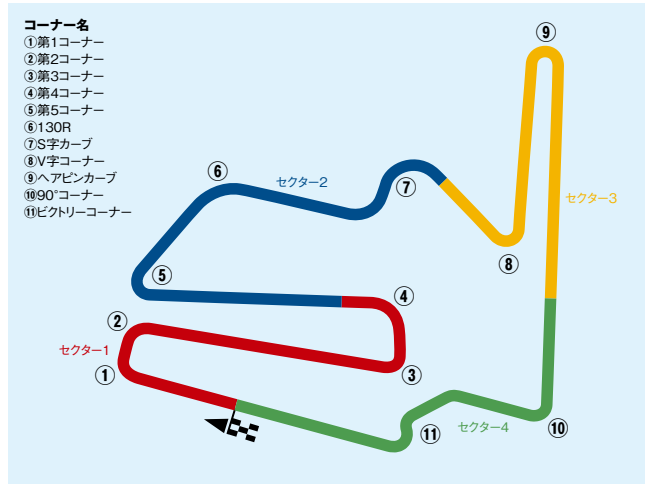
通常のロードコースと日本唯一のオーバル(楕円)コースと、ふたつの異なるタイプを持つ世界的にもまれなサーキット。スーパーフォーミュラで使うロードコースは比較的急なカーブと直線を結んだストップ(減速)&ゴー(加速)の多いレイアウトとなっている。そのため、ブレーキやタイヤの摩耗が厳しい。



### アクセス

- 〔クルマ〕** 北関東自動車道・真岡IC、友部ICより。常磐自動車道・水戸IC、那珂IC、水戸北スマートICより。東北自動車道・宇都宮ICより。
- 〔電車〕** 真岡鉄道・茂木駅よりバス20分。東北新幹線・JR宇都宮駅よりバス90分。常磐線・JR水戸駅よりバス90分。

株式会社モビリティランド ツインリンクもてぎ  
〒321-3597 栃木県芳賀郡茂木町松山120-1  
TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009 <http://www.twinring.jp>



### コースデータ

全長	4.801km
コース幅	14
ストレート長	762m(ダウンヒルストレート)
高低差	30.4m
コーナー数	14

### コースレコード

<b>SF</b>	<b>1'31.083</b>	2020年8月30日(土)
平川亮 / ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF19・TOYOTA/TRD01F		
2020年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第1戦 予選		
<b>F3</b>	<b>1'43.484</b>	2018年8月18日(土)
坪井翔 / ダラーラF317・トヨタ		
2018年 全日本F3選手権 第10戦 予選		

# 岡山国際サーキット

## OKAYAMA INTERNATIONAL CIRCUIT

第2戦 9月26日(土)・27日(日)

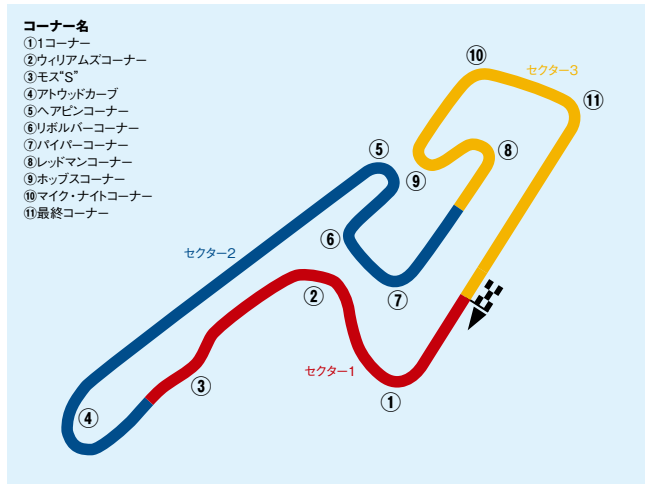
現在、中国地方で唯一のビッグレース開催サーキット。1994、95年にはF1を開催したこともある。コース長は3.7kmで、中低速コーナーの多いこぢんまりとしたテクニカルなレイアウトで観客席との距離が近い。各コーナーは往年のドライバーの名がつけられているのも特徴。2015年より、2008年以来7年ぶりにスーパーフォーミュラが開催されるようになった。



### アクセス

- 〔クルマ〕** 山陽自動車道・備前IC / 和気ICより30分。中国自動車道・美作ICより30分、作東ICより20分
- 〔電車〕** 山陽新幹線・JR岡山駅よりバス+タクシーで80分。山陽本線JR吉永駅より車で20分。
- 〔飛行機〕** 岡山空港より車で60分。

株式会社岡山国際サーキット  
〒701-2612 岡山県美作市滝宮1210  
TEL:0868-74-3311 FAX:0868-74-2600 <http://www.okayama-international-circuit.jp>



### コースデータ

全長	3.703km
コース幅	12~15m
ストレート長	600m(メインストレート) 700m(バックストレート)
高低差	29m
コーナー数	13

### コースレコード

<b>SF</b>	<b>1'12.429</b>	2015年5月23日(土)
石浦宏明 / P.MU/CERUMO・INGING SF14・TOYOTA R14A		
2015年 全日本選手権スーパーフォーミュラ 第2戦 予選		
<b>F1</b>	<b>1'10.218</b>	1994年4月15日(金)
アイルトン・セナ / ウィリアムズFW16・ルノー		
1994年 F1世界選手権 第2戦 バジフィックGP 予選		
<b>F3</b>	<b>1'20.990</b>	2016年5月28日(土)
ヤン・マーデンポロー / ダラーラF314・フォルクスワーゲン		
2016年 全日本選手権F3選手権 第6戦 予選		



# スポーツランドSUGO

## SPORTSLAND SUGO

第3戦 10月17日(土)・18日(日)

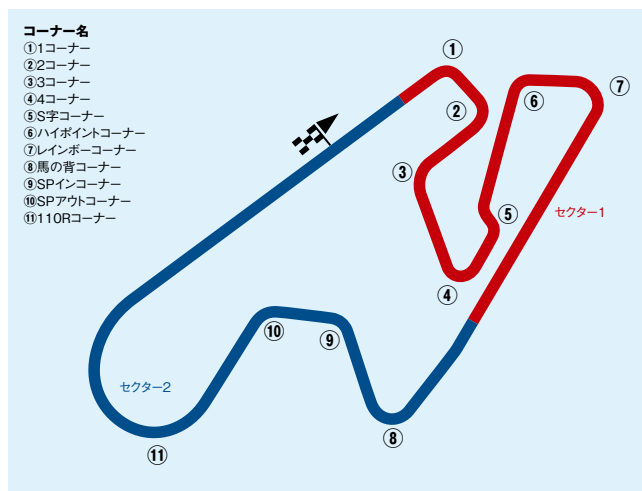
宮城県仙台郊外の山間にあり、地形を活かした高低差の大きなコース。最終コーナーからメインストレートにかけて10%という急勾配をマシンが駆け上ってくる姿はこのサーキットの特徴的なシーンとして知られる。前半はコーナーが連続するテクニカルなセクターで、後半は中高速のパートとなっている。



### アクセス

- 〔クルマ〕 東北自動車道・村田ICより10分。仙台南ICより15分。
- 〔電車〕 東北新幹線・JR仙台駅よりバス60分。
- 〔飛行機〕 仙台空港より車で40分。

株式会社菅生  
〒989-1301 宮城県柴田郡村田町菅生6-1  
TEL:0224-83-3111 FAX:0224-83-3790 <http://www.sportsland-sugo.co.jp>



### コースデータ

全長	3.621km
コース幅	10~12.5m
ストレート	704m
高低差	69.83m

### コースレコード

- SF 1'03.953** 2019年6月22日(土)  
山本尚貴 / DOCOMO DANDELION M1S SF19・Honda/M-TEC HR-417E  
2019年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第3戦 予選
- F3 1'11.871** 2018年9月29日(土)  
坪井翔 / ダラーラF317・トヨタ  
2018年 全日本F3選手権 第15戦 予選

# オートポリス

## AUTOPOLIS

第4戦 11月14日(土)・15日(日)

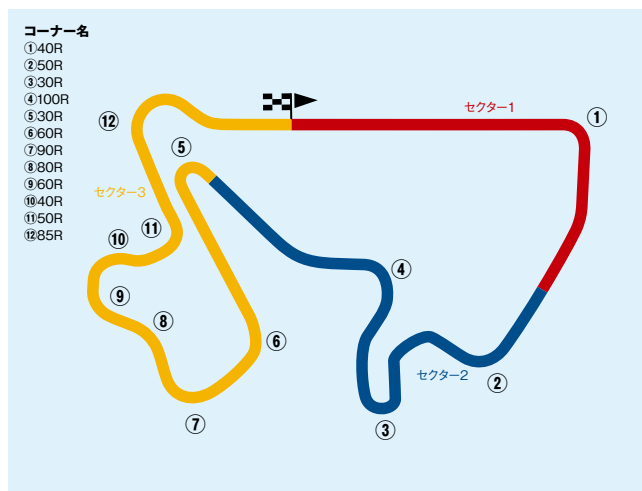
かつてスポーツカー世界選手権 (SWC) も開催された九州で初めての本格的国際格式のサーキット。阿蘇山の近くに位置し、アップダウンに富んだレイアウトが特徴で高低差は50mにも及ぶ。メインストレートは900mと長めだが、コース後半の下り坂からの右コーナー(右図⑩)をはじめ、全体的にテクニカル&チャレンジングなコースといえる。



### アクセス

- 〔クルマ〕 大分自動車道・日田ICより70分。大分自動車道・湯布院ICより70分。福岡自動車道・福岡ICより140分。熊本市内より70分。
- 〔飛行機〕 熊本空港より車で40分。

株式会社オートポリス  
〒877-0312 大分県日田市上津江町上野田1112-8  
TEL:0973-55-1111 FAX:0973-55-1113 <http://www.autopolis.jp>



### コースデータ

全長	4.674km
コース幅	12~15m
ストレート長	902m(メインストレート)
高低差	52m

### コースレコード

- SF 1'24.140** 2020年11月15日(土)  
野尻智紀 / TEAM MUGEN SF19・Honda/M-TEC HR-417E  
2020年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第4戦 予選
- グループC 1'27.188** 1991年10月26日(土)  
テオ・ファビ / ジャガー-XJR-14  
1991年 スポーツカー世界選手権 第8戦 予選
- F3 1'37.412** 2017年9月9日(土)  
坪井翔 / ダラーラF317・トヨタ  
2017年 全日本F3選手権 第17戦 予選

## 鈴鹿サーキット

### SUZUKA CIRCUIT

第5戦／第6戦 12月5日(土)・12月6日(日)

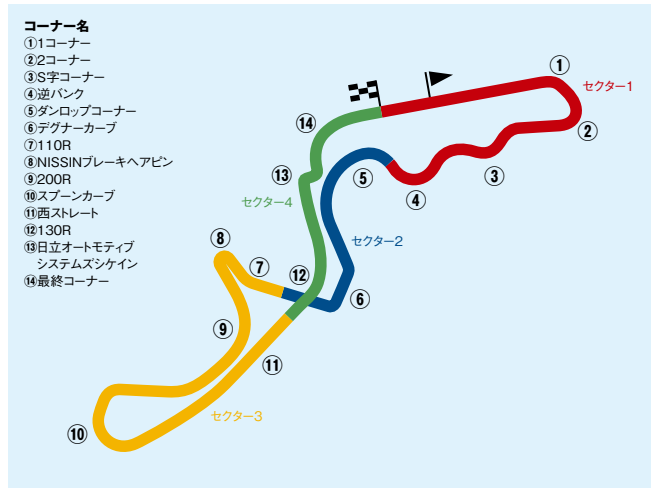
1962年、日本初の本格的サーキットとして誕生。世界的にも珍しい立体交差のある8の字型のレイアウトで低速から高速コーナーまでバランスよく配置されている。1987年にF1日本グランプリを開催してから海外でも広く知られるようになり、リズムカルでチャレンジングなレイアウトは世界でもベストコースのひとつと評価する関係者も多い。



#### アクセス

- 【クルマ】** 東名阪自動車道・鈴鹿ICより。東名阪自動車道・亀山ICより。
- 【電車】** 近鉄・白子駅よりバス20分、タクシー15分。近鉄・平田町駅よりタクシー15分。伊勢鉄道・鈴鹿サーキット稲生駅より徒歩30分。

株式会社モビリティランド 鈴鹿サーキット  
〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町7992  
TEL:059-378-1111 FAX:059-378-9181 <http://www.suzukacircuit.jp>



#### コースデータ

全長	5.807km
コース幅	10~16m
ストレート長	800m(メインストレート) 1000m(西ストレート)
コーナー数	18

#### コースレコード

<b>SF</b>	<b>1'35.907</b>	2017年4月22日(土)
中嶋一貴/VANTELIN KOWA TOM'S SF14・TOYOTA RI4A 2017年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第1戦 鈴鹿サーキット SUZUKA 2&4 RACE 予選		
<b>F1</b>	<b>1'27.064</b>	2019年10月13日(日)
セバスチャン・ベッテル/フェラーリSF90 2019年 F1世界選手権 第17戦 日本グランプリ 予選		
<b>F3</b>	<b>1'50.999</b>	2017年4月22日(土)
高星明誠/ダラーラF312・フォルクスワーゲン 2017年 全日本F3選手権 第4戦 予選		

## 富士スピードウェイ

### FUJI SPEEDWAY

第7戦 12月19日(土)・20日(日)

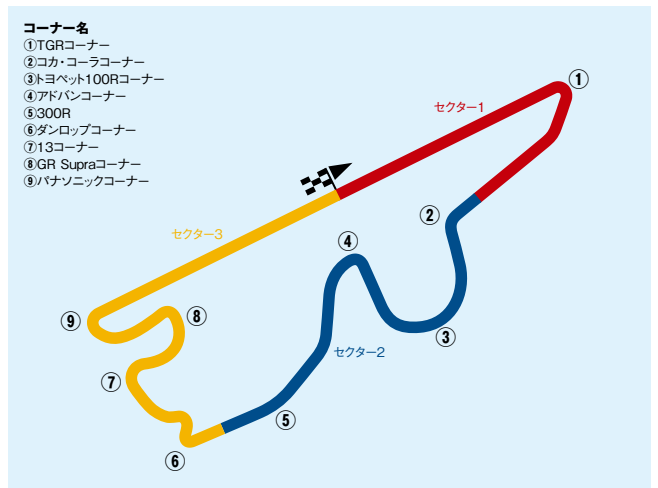
西の鈴鹿、東の富士と日本を代表する2大サーキットのひとつ。歴史も長く、日本のモータースポーツを育て、支えてきただけでなく、F1や世界耐久選手権などビッグイベントも開催してきた。約1.5kmにおよぶ世界屈指の長いストレートを持ち、高速コースとして知られたが、2005年に改修されコース後半はテクニカルなレイアウトとなった。



#### アクセス

- 【クルマ】** 東名高速道路・御殿場ICより15分。中央高速道路・河口湖IC~富士五湖道路・須走ICより10分。
- 【電車】** JR御殿場線・小田急・御殿場駅よりバス25分。

富士スピードウェイ株式会社  
〒410-1307 静岡県駿東郡小山町中日向694  
TEL:0550-78-1234 FAX:0550-78-0205 <http://www.fsw.tv>



#### コースデータ

全長	4.563km
コース幅	15~25m
ストレート長	1,475m(メインストレート)
コーナー数	16

#### コースレコード

<b>SF</b>	<b>1'22.572</b>	2014年5月17日(土)
アンドレ・ロッター/ PETRONAS TOM'S SF14・TOYOTA RI4A 2014年 全日本選手権スーパーフォーミュラ 第2戦 予選		
<b>F1</b>	<b>1'17.287</b>	2008年10月11日(土)
フェリペ・マッサ/フェラーリF2008 2008年 F1世界選手権 第16戦 フジテレビジョン 日本グランプリレース 予選		
<b>F3</b>	<b>1'33.309</b>	2018年10月13日(土)
坪井翔/ダラーラF317・トヨタ 2018年 全日本F3選手権 第18戦 予選		









# 1996-2019 DRIVER & TEAM POINT RANKING

# 2000

TEAM

DRIVER

### 2000 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	PIAA NAKAJIMA RACING	113	6	Team Morinaga NOVA	9
2	TEAM SZIGEN	45	7	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	9
3	TEAM IMPUL	34	8	TEAM LEYJUN	5
4	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	27	9	MOONCRAFT	2
5	Team LeMans	16			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。

### 2000 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Car	Rd.01 鈴鹿 3/26	Rd.02 もてぎ 4/16	Rd.03 MINE 5/21	Rd.04 富士 6/4	Rd.05 鈴鹿SP 7/2	Rd.06 SUGO 7/30	Rd.07 もてぎ 8/20	Rd.08 富士 9/3	Rd.09 MINE 9/17	Rd.10 鈴鹿 11/5	Total
1	0	高木 虎之介	PIAA NAKAJIMA RACING	レイナード2KL	10	10*	(R)*	10	10*	10*	10*	10	10*	6	86
2	6	M.クルム	TEAM SZIGEN	レイナード99L	6	6	6	(NS)*	4	2	6	2	(R)	3	35
3	19	本山 哲	TEAM IMPUL	レイナード99L	1	3	(R)	(8)	1	3	4	6*	6	10*	34
4	2	松田 次生	PIAA NAKAJIMA RACING	レイナード99L	(12)	4	10	(16)	2	(11)	3	(R)	4	4	27
5	7	野田 英樹	Team LeMans	レイナード99L	(R)	(10)	4	(15)	6	(R)	2	1	(17)	2	15
6	55	金子 勝智	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	レイナード99L	3	1	2	4	(R)	4	(11)	(R)	—	—	14
7	56	脇阪 寿一	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	レイナード99L	(11)	2	3	6	(8)	(R)	(9)	(R)	1	1	13
8	5	服部 尚貴	TEAM SZIGEN	レイナード99L	4	(7)	1	2	3	(R)	(7)	(8)	(8)	(9)	10
9	9	R.ファーマン	Team Morinaga NOVA	GフォースGF03B	(R)*	(11)	(R)	1	(7)	6	(10)	(13)	2	(R)	9
10	11	立川 祐路	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	レイナード99L	(8)	(R)	(R)	3	(R)	(R)	(R)	3	3	(12)	9
11	62	柴原 真介	TEAM LEYJUN	レイナード2KL	(9)	(12)	(9)	(7)	(9)	1	(R)	4	(13)	(14)	5
12	14	脇阪 薫一	MOONCRAFT	レイナード99L	2	(8)	(R)	(R)	(R)	(8)	(13)	(9)	(R)	(8)	2
13	8	五十嵐 勇大	Team LeMans	レイナード99L	(R)	(15)	(R)	(12)	(12)	(R)	1	(10)	(16)	(R)	1
10		山西 康司	Team Morinaga NOVA	GフォースGF03B	(R)	(9)	(7)	(11)	(14)	(R)	(R)	(R)	(7)	(7)	0
3		近藤 真彦	Olympic KONDO Racing Team	レイナード99L	(7)	(14)	(R)	(13)	(13)	(7)	(R)	(R)	(11)	(10)	0
68		道上 龍	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	レイナード2KL	(R)	(13)	(R)	(R)	(10)	(R)	(8)	(7)	(9)	(R)	0
12		J.グイェルチューク	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	レイナード99L	(13)	(R)	(8)	(R)	(R)	(R)	(12)	(11)	(12)	(11)	0
21		A.ユーン	TEAM MALAYSIA	レイナード99L	(NS)	(R)	(R)	(9)	(11)	(9)	(R)	(12)	(R)	(R)	0
36		玉中 哲二	TAKAGI B-1 RACING TEAM	レイナード99L	(R)	(R)	(10)	(10)	(15)	(10)	(R)	(R)	(14)	(R)	0
63		OSAMU	TEAM LEYJUN	レイナード99L GフォースGF03	(10)	(R)	(11)	(14)	(R)	—	(14)	(14)	(15)	(13)	0
4		土屋 武士	Olympic KONDO Racing Team	GフォースGF03	—	—	—	—	—	—	—	—	(10)	—	0

●各レースの数字は得点。太字は優勝。●( )は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、NS=出走できず。—は不出場。●\*はポールポジション。●得点は各レース1~6位まで10-6-4-3-2-1点。

●エンジンは全車無限MF308を使用。タイヤはブリヂストンのワンメイク。

# 2001

TEAM

DRIVER

### 2001 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	TEAM SZIGEN	53	6	MOONCRAFT	22
2	excite TEAM IMPUL	51	7	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	16
3	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	40	8	Team Morinaga NOVA	5
4	PIAA NAKAJIMA RACING	37	9	Team LeMans	2
5	Olympic KONDO Racing Team	34			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。

### 2001 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Car	Rd.01 鈴鹿 3/25	Rd.02 もてぎ 4/22	Rd.03 MINE 5/20	Rd.04 富士 6/3	Rd.05 鈴鹿SP 7/1	Rd.06 SUGO 7/29	Rd.07 富士 9/2	Rd.08 MINE 9/23	Rd.09 もてぎ 10/21	Rd.10 鈴鹿 11/18	Total
1	19	本山 哲	excite TEAM IMPUL	レイナード01L	(R)	(9)*	10*	(R)*	10	10	3	10	6	(R)	49
2	5	服部 尚貴	TEAM SZIGEN	レイナード99L	10*	10	2	10	(8)	(7)	(12)	1	(18)	(10)	33
3	3	立川 祐路	Olympic KONDO Racing Team	レイナード01L	(13)	6	(11)	(R)	3	3	6	4	2	6	30
4	2	R.ファーマン	PIAA NAKAJIMA RACING	レイナード99L	2	(R)	6	1	(R)	(R)	(7)	(8)	10*	10	29
5	55	脇阪 寿一	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	レイナード99L	6	(10)	(12)	(14)	1	6*	10*	(失*)	(16)	(R)	23
6	14	道上 龍	MOONCRAFT	レイナード01L	—	(R)	(10)	4	6*	4	(R)	(R)	4	4	22
7	6	M.クルム	TEAM SZIGEN	レイナード99L、01L	(R)	3	3	6	(R)	1	4	(R)	(7)	3	20
8	56	土屋 武士	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	レイナード99L	(10)	(11)	4	(R)	4	(R)	(14)	6	1	2	17
9	11	影山 正美	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	レイナード99L	3	2	1	2	(R)	(11)	1	3	(8)	(7)	12
10	1	松田 次生	PIAA NAKAJIMA RACING	レイナード2KL	(R)	4	(8)	(R)	2	2	(R)	(R)	(9)	(9)*	8
11	10	A.クート	Team Morinaga NOVA	GフォースGF03C レイナード99L	(R)	(R)	(R)	(12)	(R)	(R)	2	(R)	3	(14)	5
12	12	荒 聖治	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	レイナード99L	4	(R)	(R)	(R)	(9)	(10)	(8)	(R)	(12)	(R)	4
12	4	金子 勝智	Olympic KONDO Racing Team	レイナード99L	(7)	1	(15)	3	(R)	(9)	(11)	(R)	(11)	(13)	4
14	7	山西 康司	Team LeMans	レイナード99L	—	—	—	—	—	—	(10)	2	(10)	(R)	2
14	20	N.カーテウヤン	excite TEAM IMPUL	レイナード99L	1	(7)	(9)	(R)	(R)	(13)	(9)	(R)	(14)	1	2
7		A.ユーン	Team LeMans	レイナード99L	(11)	(R)	(7)	(7)	(10)	(R)	—	—	—	—	0
8		五十嵐 勇大	Team LeMans	レイナード99L	(9)	(R)	(R)	(11)	(7)	(8)	(17)	(R)	(17)	(8)	0
36		玉中 哲二	TAKAGI B-1 CAR倶楽部	レイナード2KL、99L	(15)	(NS)	(14)	(8)	(R)	(15)	(15)	(7)	(15)	(R)	0
9		R.ライアン	Team Morinaga NOVA	GフォースGF03	(8)	(8)	(R)	(9)	(11)	(12)	(R)	(R)	(13)	(12)	0
37		影山 正彦	TAKAGI B-1 CAR倶楽部	レイナード99L	(12)	(R)	(R)	(10)	(NS)	(14)	(16)	(R)	(R)	(R)	0
68		野田 英樹	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	レイナード2KL	(R)	(R)	(R)	(13)	(12)	(R)	(13)	(R)	(R)	(11)	0
69		J.グイェルチューク	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	レイナード99L	(14)	(R)	(13)	(NS)	—	—	—	—	—	—	0
69		光良 秀俊	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	レイナード99L	—	—	—	—	(13)	—	—	—	—	—	0

●各レースの数字は得点。太字は優勝。●( )は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、NS=出走できず、失=失格。—は不出場。●\*はポールポジション。●得点は各レース1~6位まで10-6-4-3-2-1点。

●エンジンは全車無限MF308を使用。タイヤはブリヂストンのワンメイク。

# 1996-2019 DRIVER & TEAM POINT RANKING

# 2002

TEAM  
DRIVER

## 2002 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	PIAA NAKAJIMA RACING	81	6	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	6
2	XBOX TEAM IMPUL	60	7	Olympic KONDO Racing Team	3
3	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	44	8	FORWARD NOVA	2
4	TEAM 5ZIGEN	34	9	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	1
5	Team LeMans	29			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。

## 2002 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Rd.01 鈴鹿 3/24	Rd.02 富士 4/7	Rd.03 MINE 5/19	Rd.04 鈴鹿(東SP) 7/7	Rd.05 もてぎ 7/21	Rd.06 SUGO 8/4	Rd.07 富士 9/1	Rd.08 MINE 9/22	Rd.09 もてぎ 10/20	Rd.10 鈴鹿 11/3	Total
1	31	R.ファーマン	PIAA NAKAJIMA RACING	10*	6	(R)*	10	(9)	10	6	6	10	4	62
2	1	本山 哲	XBOX TEAM IMPUL	(R)	10*	10	2	10	(R)	4	10	4	10	60
3	55	脇阪 寿一	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	2	4	(R)	4	4*	(R)	10	(8)	6*	3*	33
4	8	土屋 武士	Team LeMans	6	1	4	(NS)*	6	3*	(R)*	(7)*	1	6	27
5	32	松田 次生	PIAA NAKAJIMA RACING	4	(10)	6	(R)	(13)	2	(R)	3	3	1	19
6	6	道上 龍	TEAM 5ZIGEN	3	(NS)	-	-	3	4	3	4	(12)	(11)	17
7	56	金石 年弘	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	(R)	(R)	3	1	2	1	2	2	(R)	(7)	11
8	5	服部 尚貴	TEAM 5ZIGEN	1	(R)	(R)	3	1	(12)	1	1	(8)	2	9
9	6	光貞 秀俊	TEAM 5ZIGEN	-	-	2	6	-	-	-	-	-	-	8
10	68	R.ライアン	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	-	-	(7)	(8)	(11)	6	(7)	(R)	(7)	(R)	6
11	3	荒 聖治	Olympic KONDO Racing Team	(8)	3	(9)	(10)	(NS)	(R)	(R)	(9)	(11)	(10)	3
12	7	D.シュワガー	Team LeMans	-	-	(R)	(11)	(R)	(8)	(9)	(10)	2	(R)	2
12	10	黒澤 治樹	FORWARD NOVA	(9)	2	(R)	(14)	(12)	(10)	(12)	(R)	(R)	(12)	2
14	11	B.トレレイエ	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	(11)	(R)	1	(7)	(7)	-	-	-	-	-	1
	2	M.クルム	XBOX TEAM IMPUL	(7)	(7)	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	14	五十嵐 勇大	MOONCRAFT	(R)	(R)	(11)	(13)	(10)	(7)	(R)	(R)	(13)	(R)	0
	22	伊藤 大輔	Team 22	(10)	(9)	(10)	(9)	(8)	(9)	(8)	(11)	(10)	(8)	0
	4	金石 勝智	Olympic KONDO Racing Team	(12)	(R)	(8)	(12)	(R)	(11)	(10)	(12)	(14)	(9)	0
	68	J.コンエ	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	(13)	(8)	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	11	立川 祐路	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	-	-	-	-	-	(R)	(11)	(R)	(9)	(R)	0
	9	山本 清大	ソノ・オン・デマンド NOVA	(15)	(11)	(12)	(R)	(R)	(R)	(13)	(NS)	(15)	(13)	0
	7	影山 正美	Team LeMans	(14)	(R)	-	-	-	-	-	-	-	-	0

●各レースの数字は得点。太字は優勝。●( )は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、NS=出走できず、-は不出場。●\*はポールポジション。●得点は各レース1~6位まで10-6-4-3-2-1点。  
●マシンはレイナード99L~2KL~01L、エンジンは無限MF308を全車が使用。タイヤはブリヂストンのワンメイク。

# 2003

TEAM  
DRIVER

## 2003 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	TEAM IMPUL	91	6	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	23
2	Forum eng. ARTA Team LeMans	38	7	TEAM 5ZIGEN	17
3	PIAA NAKAJIMA RACING	33	8	CARROZZERIA Team MOHN	1
4	TEAM 22	31			
5	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	26			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。

## 2003 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Rd.01 鈴鹿 3/23	Rd.02 富士 4/6	Rd.03 MINE 4/27	Rd.04 もてぎ 6/8	Rd.05 鈴鹿 7/6	Rd.06 SUGO 7/27	Rd.07 富士 8/31	Rd.08 MINE 9/21	Rd.09 もてぎ 10/19	Rd.10 鈴鹿 11/2	Total
1	19	本山 哲	TEAM IMPUL	10	10*	10*	(9)	(14)	10	6*	(13)*	6	4*	56
2	20	B.トレレイエ	TEAM IMPUL	(R)	6	(R)	(R)	6	3	10	10	(9)	(R)	35
3	22	脇阪 寿一	TEAM 22	(R)	2	(R)	10*	4	4	(R)	1	(R)	10	31
4	7	金石 年弘	Forum eng. ARTA Team LeMans	4	(8)	2	(7)	(R)	(8)	(R)	6	10*	(R)	22
4	2	A.ロッテラー	PIAA NAKAJIMA RACING	6	3	(7)	1	(R)	6*	4	(9)	2	(R)	22
6	40	R.ライアン	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	(9)	(R)	(R)	4	10	2	(R)	(R)	4	(9)	20
7	12	井出 有治	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	3	(7)	4	6	(7)	(10)	(R)	4	(12)	2	19
8	8	土屋 武士	Forum eng. ARTA Team LeMans	(R)	(R)	6	3	2*	(7)	1	(12)	1	3	16
9	5	道上 龍	TEAM 5ZIGEN	(R)*	4	3	2	3	(R)	(R)	(R)	(13)	1	13
10	1	小暮 卓史	PIAA NAKAJIMA RACING	(12)	1	(R)	(R)	1	(R)	(R)	(14)	3	6	11
11	11	松田 次生	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	2	(9)	(R)	(R)	(15)	1	2	2	(14)	(R)	7
12	41	服部 尚貴	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	(8)	(R)	(R)	(11)	(8)	(9)	(9)	3	(7)	(11)	3
12	6	J.コートニー	TEAM 5ZIGEN	-	-	-	-	-	-	3	(7)	(R)	(R)	3
14	28	野田 英樹	CARROZZERIA Team MOHN	1	(10)	(8)	(R)	(12)	(R)	(R)	(10)	(R)	(10)	1
14	6	福田 良	TEAM 5ZIGEN	(7)	(R)	1	(R)	(13)	-	-	-	-	-	1
	4	D.シュワガー	Olympic KONDO Racing Team	(R)	(R)	(R)	(8)	(9)	(11)	(7)	(8)	(10)	(8)	0
	10	加藤 寛規	OIZUMI TEAM NOVA	-	-	-	-	-	-	-	(R)	(11)	(7)	0
	3	立川 祐路	Olympic KONDO Racing Team	(10)	(12)	(10)	(R)	(R)	(R)	(R)	(R)	(8)	(R)	0
	10	五十嵐 勇大	TEAM NOVA	-	-	-	-	(10)	(12)	(8)	-	-	-	0
	9	黒澤 治樹	PLANEX EBRO NOVA	(R)	(R)	(9)	(10)	(11)	(R)	(R)	(11)	(R)	(12)	0
	10	藤澤 哲也	カッチャオ TCPRO NOVA	(11)	(11)	(R)	(12)	-	-	-	-	-	-	0

●各レースの数字は得点。太字は優勝。●( )は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、NS=出走できず、-は不出場。●\*はポールポジション。●得点は各レース1~6位まで10-6-4-3-2-1点。  
●マシンはローバB351、タイヤはブリヂストンのワンメイク。エンジンは全車無限MF308を使用。



# 1996-2019 DRIVER & TEAM POINT RANKING

# 2004

DRIVER

TEAM

## 2004 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	mobilecast TEAM IMPUL	62	6	Yellow Hat KONDO Racing Team	10
2	PIAA NAKAJIMA RACING	50	7	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	7
3	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	40			
4	Team LeMans/Team LeMans Spirit	37			
5	TEAM ADIRECT 5ZIGEN	26			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。

## 2004 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Rd.01 鈴鹿 3/28	Rd.02 SUGO 5/2	Rd.03 もてぎ 6/6	Rd.04 鈴鹿 7/4	Rd.05 SUGO 8/1	Rd.06 MINE 8/29	Rd.07 セブン 9/19	Rd.08 もてぎ 10/24	Rd.09 鈴鹿 11/7	Total
1	40	R.ライアン	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	(8)	10*	(8)*	10*	3*	(8)	(9)	6	4*	33
2	31	A.ロッテラー	PIAA NAKAJIMA RACING	6	3	10	(8)	(R)	(R)	10	4	(7)	33
3	20	井出 有治	mobilecast TEAM IMPUL	(12)*	6	6	4	(7)	(7)	(10)	10	6	32
4	19	B.トレルイエ	mobilecast TEAM IMPUL	(R)	1	3	6	(10)	10*	(7)	(R)	10	30
5	7	鶴坂 寿一	Team LeMans	(13)	4	(R)	2	4	6	4	(R)*	3	23
6	1	本山 哲	TEAM ADIRECT 5ZIGEN	2	(12)	2	3	10	1	(R)	2	1	21
7	32	小暮 卓史	PIAA NAKAJIMA RACING	10	(9)	(9)	(7)	6	(R)	1	(9)	(8)	17
8	25	片岡 龍也	Team LeMans Spirit	(10)	(11)	4	(13)	(R)	3	2	3	(12)	12
9	41	服部 尚貴	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	(7)	(7)	(R)	(10)	1	(10)	6*	(R)	(10)	7
10	3	道上 龍	Yellow Hat KONDO Racing Team	4	2	1	(R)	(R)	(11)	(8)	(10)	(13)	7
11	11	松田 次生	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	3	(R)	(12)	(9)	(失)	(12)	3	1	(R)	7
12	2	金石 年弘	TEAM ADIRECT 5ZIGEN	1	(13)	(10)	(R)	(12)	4	(R)	(R)	(11)	5
13	8	土屋 武士	Team LeMans	(11)	(10)	(7)	(11)	(8)	2	(R)	(R)	2	4
14	4	立川 祐路	Yellow Hat KONDO Racing Team	(R)	(R)	(R)	1	2	(9)	(R)	(7)	(9)	3
28	野田 英樹	CARROZZERIA Team MOHN	(9)	(8)	(11)	(R)	(11)	(R)	(R)	(R)	(11)	(14)	0
27	山西 康司	CARROZZERIA Team MOHN	—	—	—	(12)	(9)	—	—	—	(8)	—	0
12	影山 正美	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	—	—	—	—	—	(R)	(R)	(11)	(R)	(15)	0

●各レースの数字は得点。太字は優勝。●( )は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、失=失格、—は不出場。●\*はポールポジション ●得点は各レース1~6位まで10-6-4-3-2-1点。  
●マシンはローラB351、タイヤはブリヂストンのワンメイク。エンジンは全車が無限MF308を使用。

# 2005

DRIVER

TEAM

## 2005 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	mobilecast IMPUL/arting IMPUL	101	6	TEAM 5ZIGEN	14
2	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	37	7	TEAM CERUMO	2
3	PIAA NAKAJIMA RACING	35			
4	KONDO Racing Team	21			
5	Forum Engineering Team LeMans	20			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。

## 2005 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Rd.01 もてぎ 4/3	Rd.02 鈴鹿 4/17	Rd.03 SUGO 5/15	Rd.04 富士 6/5	Rd.05 鈴鹿 7/3	Rd.06 MINE 7/31	Rd.07 富士 8/28	Rd.08 もてぎ 10/23	Rd.09 鈴鹿 11/27	Total
1	23	本山 哲	arting RACING TEAM with IMPUL	3	3	10	6	10*	4	(13)	10*	6	52
2	20	井出 有治	mobilecast TEAM IMPUL	6*	10	2	(7)	(8)	10	4	3	4	39
3	1	R.ライアン	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	10	2	6	3*	4	(R)	3*	(13)	2	30
4	31	A.ロッテラー	PIAA NAKAJIMA RACING	(11)	(R)	(9)	(R)	(R)	(10)	10	(R)	10	20
5	32	小暮 卓史	PIAA NAKAJIMA RACING	(R)	4	4*	(8)	6	(R)	(11)	(9)	1	15
6	19	B.トレルイエ	mobilecast TEAM IMPUL	1	(9)*	(R)	10	(R)	(失)*	(12)	(11)	3	14
7	5	松田 次生	TEAM 5ZIGEN	(10)	6	(R)	4	1	3	(9)	(10)	(8)*	14
8	8	土屋 武士	Forum Engineering Team LeMans	2	(R)	3	(R)	(R)	2	2	4	(R)	13
9	4	R.クインレルリ	KONDO Racing Team	—	—	—	2	2	6	(R)	2	(10)	12
10	3	山本 左近	KONDO Racing Team	(14)	(R)	(R)	(R)	3	(8)	(R)	6	(11)	9
11	7	片岡 龍也	Forum Engineering Team LeMans	(7)	(8)	(8)	(R)	(R)	(7)	6	1	(7)	7
12	2	服部 尚貴	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	4	1	1	(10)	(7)	1	(7)	(7)	(14)	7
13	11	平中 克幸	TEAM CERUMO	(8)	(R)	(R)	1	(R)	(R)	1	(12)	(9)	2
4	J.ヤニス	KONDO Racing Team	(12)	(7)	(7)	—	—	—	—	—	—	—	0
12	高木 虎之介	TAKAGI PLANNING with CERUMO	(9)	(R)	(11)	(9)	(10)	(9)	(9)	(8)	(R)	(12)	0
28	野田 英樹	CARROZZERIA Team MOHN	(R)	(R)	(10)	(R)	(9)	(R)	(R)	(10)	(8)	(13)	0
27	加藤 正将	CARROZZERIA Team MOHN	(13)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0

●各レースの数字は得点。太字は優勝。●( )は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、失=失格、—は不出場。●\*はポールポジション ●得点は各レース1~6位まで10-6-4-3-2-1点。  
●マシンはローラB351、タイヤはブリヂストンのワンメイク。エンジンは全車が無限MF308を使用。



# 1996-2019 DRIVER & TEAM POINT RANKING

# 2008

TEAM

---

DRIVER

## 2008 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	LAWSON TEAM IMPUL	114.5	7	Team LeMans	22
2	PIAA NAKAJIMA RACING	103	8	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	21
3	PETRONAS TEAM TOM'S	58	9	STONEMARKET-BLAAK CERUMO/INGING	11
4	CERUMO/INGING	52.5	10	SG team 5ZIGEN	9
5	KONDO RACING	44	11	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	7.5
6	TP Checker TEAM IMPUL	42			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。  
●チームポイントにはポールポジションの得点は加算されない。

## 2008 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Rd.01 富士 4/6	Rd.02 鈴鹿 5/11	Rd.03 もてぎ 5/25	Rd.04 岡山 6/8	Rd.05 鈴鹿 7/13	Rd.06 もてぎ 8/10	Rd.07 富士 8/31	Rd.08 SUGO 9/21	Total			
1	1	松田 次生	LAWSON TEAM IMPUL	トヨタRV8J	16*	16*	16*	1(R)*	11*	(8)	9*	4	5	0.5	15	93.5
2	31	L.デュバル	PIAA NAKAJIMA RACING	ホンダHF386E	1	1	10	15	3	4	10	(R)	8	(7)	10	62
3	36	A.ロッテラー	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8J	(R)	10	12	12	8	2	(11)	(7)	4	1	(12)	49
4	20	平手 晃平	TP Checker TEAM IMPUL	トヨタRV8J	(R)	12	5	10	4	5	(R)	(NS)	—	—	6	42
5	32	小暮 卓史	PIAA NAKAJIMA RACING	ホンダHF386E	5	6	(R)	2	6	(7)	4	(R)	6	(6)	12	41
6	4	J.P.オベラ	KONDO RACING	トヨタRV8J	(R)	(R)	2	(11)	5	1	6	3	11*	(8)	5	33
7	48	立川 祐路	CERUMO/INGING	トヨタRV8J	12	(17)	4	8	(17)	(12)	5	2	(9)	(9)	(15)	31
8	2	B.トレルイエ	LAWSON TEAM IMPUL	トヨタRV8J	8	4	(R)	3	(R)	(13)	(15)	(R)	2	2	8	27
9	47	R.クインテッリ	CERUMO/INGING	トヨタRV8J	6	3	(R)	4	(10)	(9)	(R)	(13)	3	1.5	4	21.5
10	56	伊沢 拓也	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	ホンダHF386E	(R)	2	8	6	(12)	(R)	(R)	(12)	(18)	(17)	3	19
11	7	本山 哲	Team LeMans	トヨタRV8J	(R)	8	(16)	(R)	1	3	(9)	1	(14)	(14)	1(R)*	14
12	3	横溝 直輝	KONDO RACING	トヨタRV8J	(R)	5	(11)	5	2	(6)	(R)	(11)	(12)	(12)	(R)	12
13	67	R.ストレイト	STONEMARKET-BLAAK CERUMO/INGING	トヨタRV8J	10	(15)	(R)	(R)	(11)	(10)	(R)	(9)	(19)	(18)	1	11
14	5	金石 年弘	SG team 5ZIGEN	ホンダHF386E	(11)	(R)	6	(14)	(R)	(14)	3	(R)	(16)	(20)	(11)	9
15	37	荒 聖治	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8J	(R)	(11)	1	1	(13)	(11)	2	5	(10)	(10)	(16)	9
16	8	石浦 宏明	Team LeMans	トヨタRV8J	4	(13)	3	(R)	(14)	(R)	(13)	(8)	(17)	(16)	2	9
17	41	土屋 武士	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	ホンダHF386E	3	(14)	(14)	(12)	(16)	(R)	1	(14)	(11)	(11)	(14)	4
18	40	松浦 孝亮	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	ホンダHF386E	(12)	(16)	(12)	(13)	(9)	(R)	(10)	(6)	1	2.5	(13)	3.5
19	55	井出 有治	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	ホンダHF386E	2	(18)	(15)	(R)	(15)	(R)	(12)	(R)	(R)	(19)	(17)	2
6		吉本 大樹	SG team 5ZIGEN	ホンダHF386E	—	—	—	—	(18)	(15)	(14)	(10)	—	—	—	0
6		平中 克幸	SG team 5ZIGEN	ホンダHF386E	(R)	(12)	(13)	(15)	—	—	—	—	(15)	(15)	(R)	0
20	R.ライアン	TP Checker TEAM IMPUL	トヨタRV8J	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(13)	(13)	—	0

●数字は得点。太字は優勝。●( )は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、NS=出走できず。—は不出場。●\*はポールポジション。●得点は各レース1~10位まで15-12-10-8-6-5-4-3-2-1点。予選ポールポジションにも1点。  
●1大会2レースの場合、第1レースの得点は1~8位に10-8-6-5-4-3-2-1点。第2レースは1~5位に5-4-3-2-1点。●1大会2レースの第2レースは、第1レースの結果でスターティンググリッドが決まるため、ポールポジションの得点はなし。  
●第7戦富士の第2レースは雨によるレース途中中止のため、規定により通常得点の半分。●マシンはFN06、タイヤはブリヂストンのワンメイク。

# 2009

TEAM

---

DRIVER

## 2009 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	NAKAJIMA RACING	93	6	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	25
2	PETRONAS TEAM TOM'S	52	7	HFDP RACING	20
3	LAWSON TEAM IMPUL	50	8	CERUMO/INGING	9
4	ahead TEAM IMPUL	31			
5	Team LeMans	31			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。  
●チームポイントにはポールポジションの得点は加算されない。

## 2009 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Rd.01 富士 4/5	Rd.02 鈴鹿 5/17	Rd.03 もてぎ 5/31	Rd.04 富士 6/28	Rd.05 鈴鹿 7/12	Rd.06 もてぎ 8/9	Rd.07 オートポリス 8/30	Rd.08 SUGO 9/27	Total
1	31	L.デュバル	NAKAJIMA RACING	ホンダHR09E	5	10	(R)	11*	11*	8	6	11*	62
2	2	B.トレルイエ	LAWSON TEAM IMPUL	トヨタRV8K	10	9*	8	(R)	6	6	1	(9)	40
3	36	A.ロッテラー	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8K	(10)	6	4	1	2	10	8	8	39
4	32	小暮 卓史	NAKAJIMA RACING	ホンダHR09E	1	(R)	11*	2	8	4*	11*	(10)	37
5	20	平手 晃平	ahead TEAM IMPUL	トヨタRV8K	7*	5	(R)	4	4	1	5	6	32
6	8	石浦 宏明	Team LeMans	トヨタRV8K	(11)	1	6	5	5	5	4	4	30
7	10	塚越 広大	HFDP RACING	ホンダHR09E	3	4	5	3	(9)	(10)	(R)	5	20
8	41	伊沢 拓也	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR09E	8	2	(NS)	(R)	1	(9)	3	(11)	14
9	37	大嶋 和也	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8K	2	(R)	(R)	8	(10)	(11)	(9)	3	13
10	40	R.ライアン	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR09E	(R)	3	2	6	(13)	(R)	(10)	(13)	11
11	1	松田 次生	LAWSON TEAM IMPUL	トヨタRV8K	(R)	(R)	3	(R)	(12)	4	2	2	11
12	48	立川 祐路	CERUMO/INGING	トヨタRV8K	4	(R)	(R)	(9)	3	2	(R)	(12)	9
13	7	国本 京佑	Team LeMans	トヨタRV8K	(9)	(9)	(NS)	(10)	(11)	(R)	(11)	1	1

●数字は得点。太字は優勝。●( )は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、NS=出走できず。—は不出場。●\*はポールポジション。●得点は各レース1~8位まで10-8-6-5-4-3-2-1点。ポールポジションにも1点。  
●マシンはFN09、タイヤはブリヂストンのワンメイク。

# 1996-2019 DRIVER & TEAM POINT RANKING

# 2010

TEAM

---

DRIVER

## 2010 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	Mobil 1 TEAM IMPUL	68	6	HFDP RACING	9
2	PETRONAS TEAM TOM'S	66	7	KCMG	4
3	NAKAJIMA RACING	56.5	8	DELIZIEFOLLIE/CERUMO-INGING	3
4	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	40.5	9	KONDO RACING	1
5	Team LeMans	24	10	MOTUL TEAM 無限	1

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。  
●チームポイントにはポールポジションの得点および2レース制の勝者に与えられる別ポイントは加算されない。

## 2010 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Rd.01 鈴鹿 4/18	Rd.02 もてぎ 5/23	Rd.03 富士 7/18	Rd.04 もてぎ 8/8	Rd.05 SUGO 9/26	Rd.06 オートポリス 10/17	Rd.07 鈴鹿 11/7	Total	
1	19	J.P.デ・オリベラ	Mobil 1 TEAM IMPUL	トヨタRV8K	8	11*	6	3	(11)	8	2.5	9*	47.5
2	36	A.ロッテラー	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8K	6	6	8	(R)	6	10	3	4	43
3	1	L.デュバル	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR10E	3	5	1(14)*	10	9*	(R)	9*	2.5	39.5
4	32	小暮 卓史	NAKAJIMA RACING	ホンダHR10E	11*	3	4	9*	4	(R)	4	3	38
5	20	平手 晃平	Mobil 1 TEAM IMPUL	トヨタRV8K	5	2	10	6	(12)	1	(9)	1.5	25.5
6	37	大嶋 和也	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8K	(12)	1	5	4	10	1(R)*	2	1	24
7	31	山本 尚貴	NAKAJIMA RACING	ホンダHR10E	2	4	2	5	(R)	4	1.5	2	20.5
8	8	石浦 宏明	Team LeMans	トヨタRV8K	(10)	(R)	3	1	5	6	1	(10)	16
9	10	塚越 広大	HFDP RACING	ホンダHR10E	1	8	(11)	(10)	(R)	(失)	(10)	(12)	9
10	7	K.コッツォリーノ	Team LeMans	トヨタRV8K	(R)	(10)	1	(13)	2	5	(13)	(14)	8
11	2	伊沢 拓也	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR10E	4	(11)	(9)	(11)	3	(R)	(11)	(11)	7
12	18	平中 克幸	KCMG	トヨタRV8K	(R)	(R)	(13)	2	(R)	2	(12)	(13)	4
13	29	井口 卓人	DELIZIEFOLLIE/CERUMO-INGING	トヨタRV8K	(11)	(R)	(12)	(12)	(10)	3	(R)	(R)	3
14	3	松田 次生	KONDO RACING	トヨタRV8K	-	-	-	(R)	1	(R)	(14)	(9)	1
15	16	井出 有治	MOTUL TEAM 無限	ホンダHR10E	(9)	(9)	(10)	(9)	(9)	(R)	0.5	0.5	1

●各レースの数字は得点。太字は優勝。●( )は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、失=失格、-は不出場。●\*はポールポジション。●得点は各レース1~8位まで10-8-6-5-4-3-2-1点。ポールポジションにも1点。  
●1大会2レース制は、各レース1~8位まで5-4-3-2.5-2-1.5-1-0.5点。但し、優勝者には別に3点が与えられる。●マシンはFN09、タイヤはブリヂストンのワンメイク。

# 2011

TEAM

---

DRIVER

## 2011 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	PETRONAS TEAM TOM'S	90	6	Project μ/cerumo-INGING	6.5
2	TEAM IMPUL	41	7	TEAM 無限	4
3	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	36.5	8	Team KYGNUS SUNOCO	3
4	Team LeMans	32	9	SGC by KCMG	2.5
5	NAKAJIMA RACING	18.5			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。  
●チームポイントにはポールポジションの得点および2レース制の勝者に与えられる別ポイントは加算されない。

## 2011 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Rd.01 鈴鹿 5/15	Rd.02 オートポリス 6/5	Rd.03 富士 7/17	Rd.04 もてぎ 8/7	Rd.05 鈴鹿 9/4	Rd.06 SUGO 9/25	Rd.07 もてぎ 11/6	Total	
1	36	A.ロッテラー	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8K	10	-	10	8		10	9*	9*	56
2	37	中嶋 一貴	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8K	6	10	6	6		6	4	4	42
3	1	J.P.デ・オリベラ	TEAM IMPUL	トヨタRV8K	3	5	6*	11*		(失)	(9)	3	28
4	41	塚越 広大	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR10E	2	7*	4	5		5	3	0.5	26.5
5	7	大嶋 和也	Team LeMans	トヨタRV8K	4	8	(12)	1		4*	(R)	2	19
6	8	石浦 宏明	Team KYGNUS SUNOCO	トヨタRV8K	1	(10)	3	2		8	1.5	1.5	17
7	32	小暮 卓史	NAKAJIMA RACING	ホンダHR10E	8	(R)	2	(R)		2	2	2.5	16.5
8	2	平手 晃平	TEAM IMPUL	トヨタRV8K	(9)	1	8	4		1	1	(R)	15
9	40	伊沢 拓也	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR10E	5	3	(10)	3		(失)	(R)	(10)	11
10	33	国本 雄資	Project μ/cerumo-INGING	トヨタRV8K	(13)	(11)	(15)	(12)		4	2.5	(失)	6.5
11	16	山本 尚貴	TEAM 無限	ホンダHR10E	1(R)*	4	(9)	(14)		(11)	(12)	(R)	5
12	18	A.インベトリー	SGC by KCMG	トヨタRV8K	(10)	2	(R)	(11)		(12)	0.5	(R)	2.5
13	31	中嶋 大祐	NAKAJIMA RACING	ホンダHR10E	(11)	(R)	1	(9)		(10)	(11)	1	2
	10	小林 崇志	HP REAL RACING	ホンダHR10E	(R)	(9)	(11)	(15)		(R)	(10)	(11)	0
	11	武藤 英紀	HP REAL RACING	ホンダHR10E	-	-	-	(10)		-	(R)	(9)	0
	3	A.カルダレリ	KONDO RACING	トヨタRV8K	(R)	(R)	(13)	(13)		(9)	(R)	(R)	0
	62	嵯峨 宏紀	Le Beausset Motorsports	トヨタRV8K	(12)	(R)	(14)	(16)		(13)	(13)	(R)	0
	36	井口 卓人	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8K	-	(12)	-	-		-	-	-	0

●各レースの数字は得点。太字は優勝。●( )は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、失=失格、-は不出場。●\*はポールポジション。●得点は各レース1~8位まで10-8-6-5-4-3-2-1点。ポールポジションにも1点。  
●1大会2レース制は、各レース1~8位まで5-4-3-2.5-2-1.5-1-0.5点。但し、優勝者には別に3点が与えられる。●第5戦鈴鹿は悪天候のため中止。●マシンはFN09、タイヤはブリヂストンのワンメイク。

# 1996-2019 DRIVER & TEAM POINT RANKING

# 2012

TEAM  
DRIVER

## 2012 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	78.5	6	Project μ/cerumo・INGING	10
2	PETRONAS TEAM TOM'S	76.5	7	NAKAJIMA RACING	4
3	TEAM IMPUL	51.5	8	TEAM 無限	4
4	Team KYGNUS SUNOCO	25	9	HP REAL RACING	2
5	Team LeMans	21.5			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイント合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。  
●チームポイントにはポールポジションの得点および2レースの勝者に与えられる別ポイントは加算されない。

## 2012 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Rd.01 鈴鹿 4/15	Rd.02 もてぎ 5/13	Rd.03 オートボリス 5/27	Rd.04 富士 7/15	Rd.05 もてぎ 8/5	Rd.06 SUGO 9/23	Rd.07 鈴鹿 11/4	Total	
1	2	中嶋 一貴	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8K	10	6	4	9*	5	4	(12)	8	46
2	41	塚越 広大	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR12E	8	4	11*	(9)	6	8	3	3	43
3	40	伊沢 拓也	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR12E	4*	5	8	(13)	4	11*	8	1.5	41.5
4	1	A.ロッチェラー	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8K	4	11*	(R)	10	8	(10)	2	0.5	35.5
5	19	J.P.デ・オリベラ	TEAM IMPUL	トヨタRV8K	6	8	(R)	3	11*	3	2.5	1(R)*	34.5
6	8	L.デュバル	Team KYGNUS SUNOCO	トヨタRV8K	(9)	(11)	6	5	3	6	1	4	25
7	7	大嶋 和也	Team LeMans	トヨタRV8K	5	1	3	6	(R)	5	0.5	1	21.5
8	20	松田 次生	TEAM IMPUL	トヨタRV8K	1	3	5	4	2	(R)	5*	(R)	20
9	38	平手 晃平	Project μ/cerumo・INGING	トヨタRV8K	(10)	(R)	2	2	1	1	(9)	2	8
10	32	小暮 卓史	NAKAJIMA RACING	ホンダHR12E	(15)	(R)	(10)	(10)	(13)	(R)	1.5	2.5	4
11	16	山本 尚貴	TEAM 無限	ホンダHR12E	2	2	(9)	(12)	(R)	(14)	(15)	(R)	4
12	10	金石 年弘	HP REAL RACING	ホンダHR12E	(12)	(13)	(12)	(R)	(11)	2	(14)	(14)	2
13	39	国本 雄資	Project μ/cerumo・INGING	トヨタRV8K	(14)	(9)	1	1	(10)	(13)	(11)	(12)	2
3	安田 裕信	KONDO RACING	トヨタRV8K	(11)	(12)	(13)	(16)	(9)	(11)	(13)	(9)	0	
15	佐藤 琢磨	TEAM 無限	ホンダHR12E	—	—	—	—	—	(9)	(17)	(10)	0	
31	中嶋 大祐	NAKAJIMA RACING	ホンダHR12E	(16)	(10)	(11)	(11)	(12)	(12)	(10)	(11)	0	
62	嵯峨 宏紀	TOCHIGI Le Beausset Motorsports	トヨタRV8K	(13)	(14)	(R)	(14)	(R)	(15)	(16)	(13)	0	
11	中山 友貴	HP REAL RACING	ホンダHR12E	—	—	—	(15)	(14)	—	—	—	0	
18	折目 遼	SGC by KCMG	トヨタRV8K	(17)	(15)	(R)	(R)	(R)	(R)	(18)	(15)	0	

●各レースの数字は得点。太字は優勝。●( )は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、—は不出場。●\*はポールポジション。●得点は各レース1~8位まで10-8-6-5-4-3-2-1点。ポールポジションにも1点。  
●1大会2レース制は、各レース1~8位まで5-4-3-2.5-2-1.5-1-0.5点。但し、優勝者には別に3点が与えられる。●マシンはFN09、タイヤはブリヂストンのワンメイク。

# 2013

TEAM  
DRIVER

## 2013 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	PETRONAS TEAM TOM'S	58.5	6	NAKAJIMA RACING	21
2	KYGNUS SUNOCO Team LeMans	42	7	DANDELION RACING	14
3	TEAM IMPUL	37.5	8	REAL RACING	4
4	MUGEN	32.5	9	KONDO RACING	3.5
5	INGING MOTORSPORT	21			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイント合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。  
●チームポイントにはポールポジションの得点は加算されない。

## 2013 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Rd.01 鈴鹿 4/14	Rd.02 オートボリス 6/2	Rd.03 富士 7/14	Rd.04 もてぎ 8/4	Rd.05 韓国 8/25	Rd.06 SUGO 9/29	Rd.07 鈴鹿 11/10	Total	
1	16	山本 尚貴	TEAM 無限	ホンダHR12E	5	6	6	1		6	9*	4*	37
2	2	A.ロッチェラー	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8K	—	11*	10	8		8	—	—	37
3	8	L.デュバル	KYGNUS SUNOCO Team LeMans	トヨタRV8K	—	8	6*	6		11*	—	—	31
4	1	中嶋 一貴	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8K	4	(12)	1	11*		(R)	(R)	8	24
5	19	J.P.デ・オリベラ	Lenovo TEAM IMPUL	トヨタRV8K	3	5	3	5		(R)	3	(17)	19
6	20	松田 次生	Lenovo TEAM IMPUL	トヨタRV8K	8	4	(16)	(13)		4	2.5	(16)	18.5
7	40	伊沢 拓也	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR12E	11*	(R)	4	(R)		(R)	(10)	(9)	15
8	32	小暮 卓史	NAKAJIMA RACING	ホンダHR12E	6	(R)	(14)	4		1	(R)	4	15
9	38	平手 晃平	P.MU/CERUMO・INGING	トヨタRV8K	(12)	(R)	8	(15)		(R)	2	1	11
10	39	国本 雄資	P.MU/CERUMO・INGING	トヨタRV8K	(10)	(10)	2	3		5	(R)	(15)	10
11	7	平川 亮	KYGNUS SUNOCO Team LeMans	トヨタRV8K	1	2	(11)	2		(R)	1.5	2.5	9
12	31	中嶋 大祐	NAKAJIMA RACING	ホンダHR12E	(16)	(R)	(10)	(10)		2	4	(11)	6
13	8	A.カルダレッリ	KYGNUS SUNOCO Team LeMans	トヨタRV8K	2	—	—	—		—	(R)	2	4
14	3	安田 裕信	KONDO RACING	トヨタRV8K	(14)	(9)	(12)	(R)		3	0.5	(13)	3.5
15	10	塚越 広大	HP REAL RACING	ホンダHR12E	(9)	3	(9)	(9)		(R)	(R)	(R)	3
16	2	J.ロンター	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8K	(11)	—	—	—		—	1	1.5	2.5
17	11	中山 友貴	HP REAL RACING	ホンダHR12E	(18)	1	(R)	(11)		(R)	(11)	(12)	1
18	15	佐藤 琢磨	TEAM 無限	ホンダHR12E	(15)	—	—	—		(11)	(9)	0.5	0.5
41	武藤 英紀	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR12E	(13)	(R)	(13)	(12)			(10)	(12)	(10)	0
62	嵯峨 宏紀	TOCHIGI Le Beausset Motorsports	トヨタRV8K	(17)	(11)	(R)	(16)			(9)	(14)	(14)	0
18	R.ブラッドレー	KCMG	トヨタRV8K	(19)	(R)	(R)	(14)			(R)	(13)	(18)	0
15	小林 崇志	TEAM 無限	ホンダHR12E	—	(R)	(15)	(R)			—	—	—	0

●各レースの数字は得点。太字は優勝。●( )は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、—は不出場。●\*はポールポジション。●得点は各レース1~8位まで10-8-6-5-4-3-2-1点。ポールポジションにも1点。  
●1大会2レース制は、各レース1~8位まで5-4-3-2.5-2-1.5-1-0.5点。●Rd.7鈴鹿大会に限り、各レースの勝者には別に3点が与えられる。●マシンはSF13、タイヤはブリヂストンのワンメイク。



# 1996-2019 DRIVER & TEAM POINT RANKING

# 2016

TEAM

---

DRIVER

## 2016 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	P.MU/CERUMO・INGING	54	6	TEAM 無限	14.5
2	VANTELIN TEAM TOM'S	51	7	REAL RACING	14.5
3	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL	42	8	KONDO RACING	12
4	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	36.5	9	DRAGO CORSE	8
5	NAKAJIMA RACING	15	10	SUNOCO TEAM LEMANS	6

●得点は各チームに所属するドライバーのポイント合計。 ●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。  
●チームポイントにはポールポジションの得点は加算されない。

## 2016 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Rd.01 鈴鹿 4/24	Rd.02 岡山 5/29	Rd.03 富士 7/17	Rd.04 筑波 8/21	Rd.05 岡山 9/10	Rd.06 SUGO 9/25	Rd.07 鈴鹿 10/30	Total		
1	2	国本 雄資	P.MU/CERUMO・INGING	トヨタRi4A	8	1.5	(R)	5	4	5	(15)	8	1.5	33
2	36	A.ロッテラー	VANTELIN TEAM TOM'S	トヨタRi4A	2	0.5	5	8	(12)	2.5	4	4	4	30
3	20	関口 雄飛	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL	トヨタRi4A	(14)	(13)	6	11*	(13)	(9)	11*	(18)	0.5	28.5
4	41	S.バンドーン	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR-414E	6	(12)	1*	3	5	1	3	(17)	8	27
5	1	石浦 宏明	P.MU/CERUMO・INGING	トヨタRi4A	(11)	6*	3	6	1	3	(16)	4*	4*	27
6	37	中嶋 一貴	VANTELIN TEAM TOM'S	トヨタRi4A	(12)	(17)	8	2	1(R)*	4	5	2	(16)	22
7	16	山本 尚貴	TEAM 無限	ホンダHR-414E	11*	2	(R)	1	(10)	1.5	(14)	(19)	(R)	15.5
8	19	J.P.デ・オバイヤ	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL	トヨタRi4A	(10)	(19)	10	(R)	0.5	2	(R)	0.5	2.5	15.5
9	40	野尻 智紀	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR-414E	(9)	2.5	(13)	(R)	2.5	1(16)*	6	2.5	(R)	14.5
10	3	J.ロスター	KONDO RACING	トヨタRi4A	3	(9)	4	4	(9)	(10)	1	(12)	(15)	12
11	10	塚越 広大	REAL RACING	ホンダHR-414E	4	4	1	(12)	2	(11)	(11)	(11)	(12)	11
12	64	中嶋 大祐	NAKAJIMA RACING	ホンダHR-414E	(R)	1	(R)	(10)	1.5	(12)	8	(10)	(10)	10.5
13	34	小暮 卓史	DRAGO CORSE	ホンダHR-414E	5	(15)	(12)	(11)	(11)	(14)	2	1	(9)	8
14	7	Nカーテケヤン	SUNOCO TEAM LEMANS	トヨタRi4A	(R)	(16)	2	(R)	3	(R)	(12)	(15)	(14)	5
15	65	B.バグット	NAKAJIMA RACING	ホンダHR-414E	1	(14)	(14)	(R)	(14)	(18)	(9)	1.5	2	4.5
16	11	伊沢 拓也	REAL RACING	ホンダHR-414E	(8)	3	(11)	(14)	(16)	0.5	(13)	(16)	(R)	3.5
17	8	小林 可夢偉	SUNOCO TEAM LEMANS	トヨタRi4A	(16)	(18)	(10)	(9)	(18)	(17)	(17)	(9)	1	1
18	中山 雄一	KCMG	トヨタRi4A	(13)	(10)	(9)	(15)	(17)	(13)	(R)	(14)	(11)	0	0
4	W.ブラー	KONDO RACING	トヨタRi4A	(15)	(11)	(R)	(13)	(15)	(15)	(10)	(13)	(13)	0	0

●各レースの数字は得点。太字は優勝。●( )は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、NS=出走できず。-は不出場。●\*はポールポジション。●得点は各レース1~8位まで10-8-6-5-4-3-2-1点。ポールポジションにも1点。  
●2レース制は、各レース1~8位まで5-4-3-2.5-2-1.5-1-0.5点。●Rd.7鈴鹿大会に限り、各レースの勝者には別に3点が与えられる。●マシンはSF14、タイヤは横浜ゴムのワンメイク。

# 2017

TEAM

---

DRIVER

## 2017 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	P.MU/CERUMO・INGING	47.5	6	KCMG	16.5
2	TEAM MUGEN	43.5	7	KONDO RACING	12.5
3	VANTELIN TEAM TOM'S	41	8	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	6
4	SUNOCO TEAM LEMANS	34.5	9	REAL RACING	3
5	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL	27.5	10	TCS NAKAJIMA RACING	2

●得点は各チームに所属するドライバーのポイント合計。 ●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。  
●チームポイントにはポールポジションの得点は加算されない。

## 2017 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Rd.01 鈴鹿 4/23	Rd.02 岡山 5/28	Rd.03 富士 7/9	Rd.04 もてぎ 8/20	Rd.05 オートポリス 9/10	Rd.06 SUGO 9/24	Rd.07 鈴鹿 10/22	Total	
1	2	石浦 宏明	P.MU / CERUMO・INGING	TOYOTA Ri4A	5	0.5	5*	10	5	3		33.5	
2	15	P.ガスリー	TEAM MUGEN	Honda HR-417E	(10)	(19)	1	4	10	8		33	
3	7	F.ローゼンクワイスト	SUNOCO TEAM LEMANS	TOYOTA Ri4A	(11)	(12)	2.5	8	6	4		28.5	
4	19	関口 雄飛	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL	TOYOTA Ri4A	(12)	5*	5	5	(16)	(10)	10	25	
5	37	中嶋 一貴	VANTELIN TEAM TOMS	TOYOTA Ri4A	11*	(9)	(18)	2	(11)	3	6	22	
6	36	A.ロッテラー	VANTELIN TEAM TOMS	TOYOTA Ri4A	4	5	3	6	2	(R)	(10)	1*	21
7	18	小林 可夢偉	KCMG	TOYOTA Ri4A	(9)	2.5	2	(15)	8	2	2	16.5	
8	1	国本 雄資	P.MU / CERUMO・INGING	TOYOTA Ri4A	6	(10)	(9)	1(R)*	(15)	4	5	16	
9	16	山本 尚貴	TEAM MUGEN	Honda HR-417E	8	2	0.5	(R)	(13)	(R)	(18)	10.5	
10	3	N.キャンディ	KONDO RACING	TOYOTA Ri4A	(17)	3	(11)	(R)	4	(R)	1(19)*	8	
11	4	山下 健太	KONDO RACING	TOYOTA Ri4A	(14)	1	1.5	(R)	4*	(13)	(11)	6.5	
12	8	大嶋 和也	SUNOCO TEAM LEMANS	TOYOTA Ri4A	(R)	(15)	(12)	(12)	(10)	6	(15)	6	
13	41	伊沢 拓也	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	Honda HR-417E	1	(14)	(R)	3	(R)	(15)	1	5	
14	20	J.マーデンボロー	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL	TOYOTA Ri4A	(18)	1.5	(17)	1	(14)	1	(9)	4.5	
15	10	塚越 広大	REAL RACING	Honda HR-417E	3	(11)	(16)	(9)	(9)	(9)	(16)	3	
16	64	中嶋 大祐	TCS NAKAJIMA RACING	Honda HR-417E	2	(16)	(14)	(11)	(12)	(11)	(17)	2	
17	40	野尻 智紀	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	Honda HR-417E	(16)	(13)	(10)	(10)	1	1(14)*	(12)	2	
50		小暮 卓史	B-Max Racing team	Honda HR-417E	(15)	(18)	(15)	(13)	(17)	(12)	(14)	0	
65		Nカーテケヤン	TCS NAKAJIMA RACING	Honda HR-417E	(13)	(17)	(13)	(14)	(R)	(R)	(13)	0	

●各レースの数字は得点。太字は優勝。●( )は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア。●\*はポールポジション。●得点は各レース1~8位まで10-8-6-5-4-3-2-1点。ポールポジションにも1点。  
●2レース制は各レース1~8位まで5-4-3-2.5-2-1.5-1-0.5点。●Rd.7鈴鹿大会に限り、各レースの勝者には別に3点が与えられる。●マシンはSF14、タイヤは横浜ゴムのワンメイク。  
※Rd.7鈴鹿大会は予選のみ実施、決勝は雨の影響で中止。





Formula Nippon  
SUPER FORMULA

## 歴代チャンピオン

[ドライバー／チーム]

1996

ドライバー ラルフ・シューマッハー (ドイツ)  
X-JAPAN Racing Team LeMans

チーム X-JAPAN Racing Team LeMans  
ラルフ・シューマッハー / 服部 尚貴




1997

ドライバー ペドロ・デ・ロサ (スペイン)  
SHIONOGI TEAM NOVA

チーム SHIONOGI TEAM NOVA  
ペドロ・デ・ロサ / 藤田 章




1998

ドライバー 本山 哲 (日本)  
LEMONed Racing Team LeMans

チーム LEMONed Racing Team LeMans  
N.フォンタナ / 本山 哲




1999

ドライバー トム・コロネル (オランダ)  
PIAA NAKAJIMA RACING

チーム PIAA NAKAJIMA RACING  
トム・コロネル / 光貞 秀徳




2000

ドライバー 高木 虎之介 (日本)  
PIAA NAKAJIMA RACING

チーム PIAA NAKAJIMA RACING  
高木 虎之介 / 松田 次生




2001

ドライバー 本山 哲 (日本)  
excite TEAM IMPUL

チーム TEAM 5ZIGEN  
服部 尚貴 / ミハエル・クルム




2002

ドライバー ラルフ・ファーマン (イギリス)  
PIAA NAKAJIMA RACING

チーム PIAA NAKAJIMA RACING  
ラルフ・ファーマン / 松田 次生




2003

ドライバー 本山 哲 (日本)  
TEAM IMPUL

チーム TEAM IMPUL  
本山 哲 / フノワ・トレルイエ




2004

ドライバー リチャード・ドライアン (イギリス)  
DoCoMo TEAM DANDELION RACING



チーム mobilecast TEAM IMPUL  
フノワ・トレルイエ / 井出 有治




2005

ドライバー 本山 哲 (日本)  
mobilecast IMPUL/arting IMPUL

チーム mobilecast IMPUL/arting IMPUL  
フノワ・トレルイエ / 井出 有治 / 本山 哲

2006

ドライバー フノワ・トレルイエ (フランス)  
mobilecast TEAM IMPUL

チーム mobilecast TEAM IMPUL  
フノワ・トレルイエ / 松田 次生




2007

ドライバー 松田 次生 (日本)  
mobilecast TEAM IMPUL

チーム mobilecast TEAM IMPUL  
フノワ・トレルイエ / 松田 次生




Formula Nippon  
SUPER FORMULA

## 歴代チャンピオン

[ドライバー／チーム]

2008

ドライバー  
  
松田 次生(日本)  
LAWSON TEAM IMPUL

チーム  
  
LAWSON TEAM IMPUL  
松田次生 / フノ・トトレイエ

2009

ドライバー  
  
ロイック・デュバル(フランス)  
NAKAJIMA RACING

チーム  
  
NAKAJIMA RACING  
ロイック・デュバル / 小暮 卓史

2010

ドライバー  
  
ジョアオパロ・デオリベイラ(ブラジル)  
Mobil 1 TEAM IMPUL

チーム  
  
Mobil 1 TEAM IMPUL  
ジャン・パオロ・デ・オリベイラ / 平手晃平

2011

ドライバー  
  
アンドレ・ロッターラー(ドイツ)  
PETRONAS TEAM TOM'S

チーム  
  
PETRONAS TEAM TOM'S  
アンドレ・ロッターラー(井口 卓人) / 中嶋 一貴

2012

ドライバー  
  
中嶋 一貴(日本)  
PETRONAS TEAM TOM'S

チーム  
  
DOCOMO TEAM DANDELION RACING  
伊沢拓也 / 塚越広大

2013

ドライバー  
  
山本 尚貴(日本)  
TEAM MUGEN

チーム  
  
PETRONAS TEAM TOM'S  
中嶋 一貴 / アンドレ・ロッターラー(ジェームス・ロシター)

2014

ドライバー  
  
中嶋 一貴(日本)  
PETRONAS TEAM TOM'S

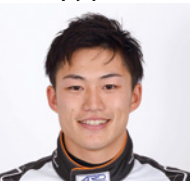
チーム  
  
PETRONAS TEAM TOM'S  
アンドレ・ロッターラー(アンドレア・カルダレッリ) / 中嶋 一貴


2015

ドライバー  
  
石浦 宏明(日本)  
P.MU/CERUMO-INGING

チーム  
  
PETRONAS TEAM TOM'S  
中嶋 一貴(大嶋 和也) / アンドレ・ロッターラー

2016

ドライバー  
  
国本 雄資(日本)  
P.MU/CERUMO-INGING


チーム  
  
P.MU/CERUMO-INGING  
石浦 宏明 / 国本 雄資


2017

ドライバー  
  
石浦 宏明(日本)  
P.MU/CERUMO-INGING

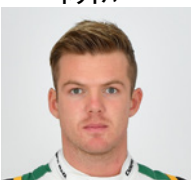
チーム  
  
P.MU/CERUMO-INGING  
国本 雄資 / 石浦 宏明


2018

ドライバー  
  
山本 尚貴(日本)  
TEAM MUGEN

チーム  
  
KONDO RACING  
ニック・キャンディ / 山下 健太

2019

ドライバー  
  
ニック・キャンディ(ニュージーランド)  
VANTELIN TEAM TOM'S

チーム  
  
DOCOMO TEAM DANDELION RACING  
山本 尚貴 / 福住 仁輔

# Formula NIPPON 1996-2012 SUPER FORMULA 2013-2019

- ★シリーズ戦のみを対象とし、10～13年のJAF GP 富士スプリントカップの成績は含まない。
- ★FN時代のシリーズ戦の大会数は、96～03年＝各10大会、04～07年＝各9大会、08～09年＝各8大会、10～12年＝各7大会で、全153大会。
- ★SF時代のシリーズ戦の大会数は、各年とも全7大会だが、13年第5戦韓国大会は開催予定時期の約1カ月前に中止となっているため、統計から完全に除外。よって13～19年のSFの総大会数は48。
- ★96～18年の計23シーズンにおけるシリーズ戦の総大会数は201とする。
- ★98年第7戦と17年最終戦（2レース制）、18年第2戦は決勝中止、11年第5戦は予選・決勝とも中止。
- ★08年第5～7戦と10～16年の各最終戦、14年第2戦、16年第5戦、17年第2戦が2レース制で実施されたため、決勝レースの実施総数は210（決勝中止の98年第7戦、17年最終戦＝2レース制、18年第2戦、そして予選・決勝とも中止の11年第5戦は含まず）。決勝出走等の統計に関しては、第1レースを原則として個別同等に扱う。
- ★08年第5～7戦の第2レースのグリッドは、第1レースの決勝結果による上位8台リバーズ制のため、「予選」としては取り扱わない（ポールポジションやポール・トゥ・ウイン、連続ポール等の統計対象とはしない）。10～17年各最終戦と14年第2戦、16年第5戦、17年第2戦の予選に関しては、第1レース、第2レースを個別に統計対象とする。予選の実施総数は211（予選中止の1戦含まず。決勝中止の場合の予選は統計に含む）。
- ★通常予選の実施後にスペシャルステージ（SS：上位、あるいは全車による単独アタック方式）を実施した場合は、SS1位がポールポジション。Q1～Q3ノックアウト方式の場合は、Q3の1位がポールポジションとなるが、10～16年最終戦と14年第2戦ではQ1結果が第1レースの予選結果、Q3まで経た結果が第2レースの予選結果となっているため、それぞれ個別同等にポールポジションとして扱う。17年最終戦も当初は同様の規則で実施される予定だったが、荒天への対応でいくつかの状況を想定した細則を採用しての予選遂行となり、結果的にはQ1のみの実施で、各自のベストタイム＝第1レースの予選順位、セカンドタイム＝第2レースの予選順位となっている（いずれも統計対象）。
- ★16年第5戦と17年第2戦は第1レース（初日）、第2レース（2日目）に対しての予選がそれぞれ当日に実施されたので、これも統計上、個別同等にポールポジションとして扱う（第2レースの予選はQ1～Q2ノックアウト方式）。
- ★03年第5戦と04年第2、4、7戦は2ヒート制での実施（赤旗によるものではなく、あらかじめの2ヒート制）。いずれかのヒートに出走していれば「決勝出走」と判断する。ポールポジション、ポール・トゥ・ウイン等に関しては、予選セッションの1位を統計対象とする（第1ヒート＝実質的な予選レースの1位は統計対象としない）。ファステストラップは、原則として第2ヒート＝実質的な決勝レースを統計対象とする。
- ★06年第1戦、08年第7戦第2レース、16年第2戦はセーフティカー先導走行のみで決勝レースが着したため、ファステストラップに関しては統計対象としない。なお06年第1戦と16年第2戦に関してはポール・トゥ・ウインの対象とする（08年第7戦第2レースはリバーズグリッドのため、ポール・トゥ・ウインの対象とはしない）。
- ★決勝失格者のファステストラップの有効性に関しては年代によって記録削除の方法等異なるが、ここでは原則無効とする。
- ★この記録を統計するにあたっては、JAF、JRP、タイヤメーカーの各サイトおよび、オートスポーツ誌、レーシングオン誌等を参考にした。解釈に関しての相違点等がそれぞれにあるため、必ずしもそれらの統計とは数字等が一致しない場合もある。

優勝回数

1	本山 哲	27回
2	A.ロッテラー	24回
3	L.デュバル	12回
4	高木虎之介	11回
	B.トルレイエ	11回
6	J.P.デ・オリベイラ	10回
7	中嶋一貴	9回
8	R.ファーマン	7回
	松田次生	7回
	小暮卓史	7回
	山本尚貴	7回
12	P.デ・ラ・ロサ	6回
	関口雄飛	6回
14	服部尚貴	5回
	脇阪寿一	5回
	石浦宏明	5回
17	R.ライアン	4回
18	R.シューマッハー	3回
	N.フォンタナ	3回
	影山正美	3回
	T.コロネル	3回
	井出有治	3回
	伊沢拓也	3回
24	金石勝智	2回
	影山正彦	2回
	光貞秀俊	2回
	平手晃平	2回
	国本雄資	2回
	S.バンドーン	2回
	P.ガスリー	2回
	N.キャンディ	2回
	野尻智紀	2回
33	星野一義	1回
	黒澤琢弥	1回
	金石年弘	1回
	R.クインタレッリ	1回
	荒 聖治	1回
	松浦孝亮	1回
	大嶋和也	1回
	塚越広大	1回
	A.ハロウ	1回
	平川 亮	1回
	山下健太	1回

ドライバーズチャンピオン獲得回数

1	本山 哲	4回(98、01、03、05年)
2	松田次生	2回(07、08年)
	中嶋一貴	2回(12、14年)
	石浦宏明	2回(15、17年)
	山本尚貴	2回(13、18年)
6	R.シューマッハー	1回(96年)
	P.デ・ラ・ロサ	1回(97年)
	T.コロネル	1回(99年)
	高木虎之介	1回(00年)
	R.ファーマン	1回(02年)
	R.ライアン	1回(04年)
	B.トルレイエ	1回(06年)
	L.デュバル	1回(09年)
	J.P.デ・オリベイラ	1回(10年)
	A.ロッテラー	1回(11年)
	国本雄資	1回(16年)
	N.キャンディ	1回(19年)

インバル：本山 哲



◀24シーズンで17人の王者が生まれている。日本人7名、外国人10名だが、タイトル総数は日本勢14：来日勢10と日本勢が優位。もちろんこれには、外国人勢にF1参戦等による卒業が多かった影響もあるだろう。最多4度を誇る本山には連覇がなく、07～08年の松田がFN～SFにおける現状唯一の連覇。最年少王者はシューマッハーで、戴冠時21歳4カ月弱。最年長での王座獲得は17年の石浦で、戴冠決定時36歳6カ月。

ナカジマ：小暮卓史



決勝出走回数

1	小暮卓史	126回
2	本山 哲	125回
3	A.ロッテラー	123回
4	松田次生	116回
5	立川祐路	100回

▲決勝出走というのは記録として最も曖昧な部分が多く、統計誤差が生じやすい部門であることをご承知おきいただきたい。赤旗再スタートに不参加の場合、最初のスタートに参加していれば「出走」と判断。また、フォーメーションラップ中や発進前のマシントラブル発生、スピン等による離脱に関しては、正式スタート後にコースインしていない限り「不出走」。それらを基準に可能な範囲の確認をしたなかでの上位5人となる。

インバル：本山 哲



▲43人が優勝者リストに名を刻んでおり、現状は7勝でトップ10という位置づけになっている（なお星野、服部、黒澤、高木については全日本F3000での優勝経験があり、星野に関してはF3000以前のF2等でも優勝経験があるが、それらは統計に含まれていない）。

## ポールポジション獲得回数

1	本山 哲	20回
2	小暮卓史	15回
3	高木虎之介	14回
4	松田次生	13回
5	A.ロッテラー	11回
	山本尚貴	11回
7	脇阪寿一	9回
	J-P.デ・オリベイラ	9回
9	B.トレルイエ	8回
	L.デュバル	8回
	石浦宏明	8回
12	R.ライアン	7回
13	R.ファーマン	6回
14	土屋武士	5回
	中嶋一貴	5回
16	P.デ・ラ・ロサ	4回
	T.コロネル	4回
	関口雄飛	4回
19	服部尚貴	3回
	伊沢拓也	3回
	野尻智紀	3回
	A.パロウ	3回
23	M.クルム	2回
	R.シューマッハー	2回
	黒澤琢弥	2回
	影山正美	2回
	道上 龍	2回
	井出有治	2回
	大嶋和也	2回
	塚越広大	2回
	A.カルダレリ	2回
	N.キャンディ	2回
	国本雄資	2回
	平川 亮	2回
35	鈴木利男	1回
	星野一義	1回
	金石勝智	1回
	N.フォンタナ	1回
	影山正彦	1回
	野田英樹	1回
	光貞秀俊	1回
	P.ダンブレック	1回
	金石年弘	1回
	平手晃平	1回
	S.バンドーン	1回
	山下健太	1回
	J.マーデンポロー	1回
	牧野任祐	1回

インバル：本山 哲



▲48人がFN～SFで予選1位という栄誉に輝いている。統計対象は予選1位という意味でのポールポジションなので、03～04年の一部レース、2ヒート制の場合の第1ヒート1位はカウントされない（予選1位の方をカウント）。決勝中止となった18年の第2戦では平川が初ポールを獲得したが、決勝が実施された場合、彼は前戦で受けた3グリッド降格ペナルティにより4番グリッド発進になる予定だった。



インバル：本山 哲

## 決勝ファステストラップ獲得回数

1	本山 哲	20回
2	J-P.デ・オリベイラ	15回
3	脇阪寿一	10回
	小暮卓史	10回
	A.ロッテラー	10回
6	L.デュバル	9回
7	野田英樹	6回
	松田次生	6回
9	R.ライアン	5回
	B.トレルイエ	5回
	中嶋一貴	5回
	石浦宏明	5回
	関口雄飛	5回

▲上位13人（5回以上）。優勝よりもポールやファステストの数が多く傾向の脇阪、小暮がチャンピオンにはなれず、3部門とも首位だが、なかでも優勝数が最も多い本山は4度王座に就いていることが象徴的ではある。レース後半に追いつけて出ることが多い原則のファステストは、優勝数より多くならない方が理想的といえるのだろう。本山の記録傾向は見事な王者型。

## ポール・トゥ・ウイン達成回数

1	本山 哲	10回
2	高木虎之介	8回
3	J-P.デ・オリベイラ	7回
	A.ロッテラー	7回
5	小暮卓史	5回
	L.デュバル	5回
	山本尚貴	5回
8	P.デ・ラ・ロサ	4回
	B.トレルイエ	4回
	松田次生	4回
	石浦宏明	4回
12	R.ファーマン	3回
	中嶋一貴	3回
	関口雄飛	3回

▲上位14人（3回以上）。レース中の順位変動には関係なく、ポールポジション＝予選1位と優勝を同時に記録した、という解釈になる（第1ヒート＝予選レースの結果は無視）。高木はチャンピオンとなった00年にこれを5回も達成。97年のデ・ラ・ロサ、08年の松田も各4回と圧倒的な強さを誇った。なお、トレルイエ（06年第1戦）と石浦（16年第2戦）には、セーフティカー先導走行のみのレースが含まれる。昨年（19年）初優勝したアレックス・パロウは同年終了時点で通算1勝だが、その1勝がポール・トゥ・ウインかつハットトリック。



インバル：本山 哲



ナカジマ：高木虎之介

## 連続優勝

1	高木虎之介	6連勝（00年第4～9戦）
2	本山 哲	4連勝（02年第10戦～03年第3戦）
3	R.ファーマン	3連勝（01年第9戦～02年第1戦）
	松田次生	3連勝（08年第1～3戦）
	A.ロッテラー	3連勝（11年第6戦～第7戦第2レース）

▲3連勝以上。本山とファーマンの記録はシーズン跨ぎのもの。あまり連勝はできない接戦のシリーズだけに、ここでも00年の高木のケタ外れの強さが光る。

## 連続ポールポジション

1	松田次生	6回（08年第1～6戦）
2	R.ライアン	4回（04年第2～5戦）
	小暮卓史	4回（06年第5～8戦）
4	高木虎之介	3回（96年第4～6戦／00年第5～7戦）
	T.コロネル	3回（99年第6～8戦）
	本山 哲	3回（01年第2～4戦）
	脇阪寿一	3回（01年第6～8戦）
	土屋武士	3回（02年第6～8戦）
	小暮卓史	3回（07年第7～9戦）

▲予選1位という意味での連続ポール（リバースポールは除外して考える）。3連続以上を記載しているが、該当10例はいずれも同一シーズン内の記録。08年の松田は、あと2戦というところで全戦ポール達成を阻まれた。高木は3回連続を96年と00年に2度マークしている。



インバル：松田次生



インバル：ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ

## PP+WIN+FL＝ハットトリック達成回数

1	J-P.デ・オリベイラ	4回
2	L.デュバル	3回
3	高木虎之介	2回
	本山 哲	2回
	B.トレルイエ	2回
	A.ロッテラー	2回

▲上位6人。ポール・トゥ・ウインに加えて決勝ファステストラップも記録した完全勝利である。全体として少ない印象だが、初期のフォーミュラ・ニッポンには決勝ファステストラップ樹立者に高級腕時計が贈呈されていた時期もあったため、上位圏外でもそれを狙いに行ったドライバーがいたことも影響しているか？1回達成者は11人で、黒澤琢弥、P.デ・ラ・ロサ、影山正美、脇阪寿一、R.ファーマン、小暮卓史、松田次生、石浦宏明、関口雄飛、N.キャンディ、A.パロウ。

## 年少初優勝

1	R.シューマッハー	20歳10カ月12日(96年第2戦)
2	松田次生	20歳11カ月3日(00年第3戦)
3	N.フォンタナ	21歳4カ月6日(96年第3戦)
4	P.ガスリー	21歳6カ月13日(17年第4戦)
5	A.ハロウ	22歳3カ月13日(19年第4戦)



チームルマン：ラルフ・シューマッハー

▲各自の初優勝のみを対象とした5傑。シューマッハーと松田は実に僅差だった。高木虎之介は95年の全日本F3000でトップフォーミュラ初優勝を果たしており、当時21歳と6カ月弱。実質的にはガスリー、ハロウより上位になる。なお、日数の端数の数え方は、月毎の誕生日を基点にした決勝日までの日数で、決勝日を含むものとした(冊子「History of Formula NIPPON 1996-2012」の作成時は、決勝日を含まない「完全経過日数」で記載したため、1日ずつの違いが生じる。その後、より一般的な記載法に準じて変更した)。



インバル：星野一義

▼各自の最終優勝のみを対象とした5傑。近年は高齢優勝が目立つ傾向にあり、昨年(18年)は石浦がこの部門で歴代2番目となる記録をマーク、本山の上に出た。星野の偉業には、最大限の敬意を払いたい(日数の端数については「年少初優勝」部門と同じ)。

## 年長最終優勝

1	星野一義	48歳9カ月27日(96年第1戦)
2	石浦宏明	37歳3カ月27日(18年第5戦)
3	本山 哲	36歳8カ月14日(07年第9戦)
4	A.ロッテラー	35歳6カ月8日(17年第2戦第1レース)
5	J-P.デ・オリベイラ	35歳0カ月4日(16年第3戦)

## チーム別優勝回数

1	インバル	63回
2	ナカジマ	43回
3	トムス	32回
4	チームルマン	16回
5	ダンディライアン	15回
6	ノバ	10回
7	無限	9回
8	セルモ・インギング	7回
9	スーパーアグリ~ARTA	5回
10	5ZIGEN	4回
11	KONDO	3回
12	TEAM22	2回
13	インギング	1回

▲「チーム」という定義付けは実に難しく、エントリー名と実質的なチーム母体が異なる場合をどうするか、などの問題がある。ARTAの一時期の勝利、およびTEAM22の全2勝は、チームルマンがメンテナンスを実行していた時期のものだが、それらはARTA、TEAM22の勝利としてカウントしている。03年の金石年弘(Forum eng. ARTA Team LeMans)の勝利はチームルマンとしてカウント。また、セルモとの合併以前のインギングの勝利は別扱いとした。セルモ・インギングとしては15年が初優勝。インバルは96年から毎年1勝以上を継続していたが、13年に途切れた(17年連続でストップ)。トムスは06年からの参戦でありながらすでに32勝を挙げて歴代3位となっている。



インバルの星野一義監督(左)

## チームタイトル獲得回数

1	インバル	7回(03、04、05、06、07、08、10年)
2	ナカジマ	4回(99、00、02、09年)
	トムス	4回(11、13、14、15年)
4	チームルマン	2回(96、98年)
	セルモ・インギング	2回(16、17年)
	ダンディライアン	2回(12、19年)
7	ノバ	1回(97年)
	5ZIGEN	1回(01年)
	KONDO	1回(18年)

▲インバルは03~08年に6連覇を達成。24シーズン中、17シーズンがドライバー&チームの2冠達成というかたちになっている。

## チーム別ドライバースチャンピオン輩出回数

1	インバル	7回(01、03、05、06、07、08、10年)
2	ナカジマ	4回(99、00、02、09年)
	トムス	4回(11、12、14、19年)
4	セルモ・インギング	3回(15、16、17年)
5	チームルマン	2回(96、98年)
	無限	2回(13年、18年)
7	ノバ	1回(97年)
	ダンディライアン	1回(04年)

◀タイトルが「割れた」のは01年、04年、12年、13年、15年、18、19年の7シーズン。無限はチームタイトルの獲得はなく、ダンディライアンは2度あるが、ダブルタイトルの経験はない。

## 肖像権および知的所有権、著作物制作権について

SUPER FORMULA のエンタラントに帰属するすべての者（エンタラント代表、チーム監督、ドライバー、チームスタッフ、レースクイーンほか）はエンタラントの管理下に置かれ、SUPER FORMULA に参加することで発生する肖像権および知的所有権はすべてエンタラントに帰属します。但し、それらを用いて著作物を制作する、又は制作させる権利（著作物制作権）は全てその用途に関わらず全て株式会社日本レースプロモーション（JRP）に帰属します。詳しくは JRP までお問い合わせください。

## SUPER FORMULAのロゴ使用について

SUPER FORMULA のロゴ使用に際しては、『SUPER FORMULA VISUAL IDENTITY Regulation (V.I. 規定)』を参照してください。SUPER FORMULA の各ロゴの使用権利はすべて JRP にあり、許可なくこれを使用することを禁止します。詳しくは JRP にお問い合わせください。

### 会社概要

会社名	株式会社日本レースプロモーション（JAPAN RACE PROMOTION INC.）
設立	1995年
資本金	6000万円
所在地	東京都千代田区九段南 2-3-25 平安堂ビル
電話番号	03-3237-0131
FAX 番号	03-3237-0135
公式サイト	<a href="http://www.superformula.net/">http://www.superformula.net/</a>

主な事業内容：自動車競技会の運営に関する業務、自動車競技会のプロモーション、自動車競技会のスポンサー営業に関する業務、自動車競技会の PR に関する代理業務、自動車競技会／同映像のデータベース制作・管理・販売、モータースポーツに関連する調査、マーケティング業務、報道写真・ビデオ・フィルム等の制作、配信及び販売

### 沿革

1995年	株式会社日本レースプロモーション設立。
1996年	「全日本F3000選手権シリーズ」にかわり、「全日本選手権フォーミュラ・ニッポン」シリーズがスタート。フジテレビ地上波放送がスタート。（～2009年）
1997年	タイヤを株式会社ブリヂストンのワンメイクとする。J SPORTSでレースの生中継放送がスタート。
1998年	株式会社フジテレビジョンが資本参加。
2003年	ワンメイクシャシー“LOLA B351”を導入。
2006年	シャシーを“FN06 (LOLA B06/51)”に変更。 本田技研工業株式会社、トヨタ自動車株式会社がV型8気筒3ℓの専用エンジン供給を開始。 若手育成事業として「Formula Challenge Japan (FCJ)」の運営・プロモートを開始。（～2013年6月）
2009年	シャシーを“FN09 (SWIFT 017.n)”に変更。 エンジンをV型8気筒3.4ℓに変更すると同時に、オーバーテイクシステムを採用。
2010年	BSフジでレースダイジェスト番組の放送スタート。（2015年、「スーパーフォーミュラGo On!」に改名）
2011年	ファミリー層を対象としたプロモーションイベント「Enjoy Kids」を、9月に宮城県名取市、11月に栃木県宇都宮市で開催。 名取市でのイベントは東日本大震災の復興を願って開催。（2012年、「Smile Kids」に改名）
2013年	シリーズ名称を「全日本選手権スーパーフォーミュラ」に変更。（“スーパーフォーミュラ”の名称はファンからの公募）
2014年	ダラーラ社製シャシーを使用した新マシン“SF14”を導入。 パワーユニットをターボ過給・直列4気筒2ℓダイレクトインジェクションエンジンとする。 エンジンの開発・供給は本田技研工業株式会社とトヨタ自動車株式会社が担当。 日立オートモティブシステムズ株式会社、スカパーJSAT株式会社が新たにプロモーションパートナーとなる。
2016年	横浜ゴム株式会社がオフィシャルタイヤサプライヤーとなり、ヨコハマタイヤのワンメイクとなる。 選手権名称を「全日本スーパーフォーミュラ選手権」に改称。 スカパーJSAT株式会社に代わり、ソニー株式会社が新たなプロモーションパートナーとなる。 4月、フジテレビでドライバーがMCを務めるバラエティ番組「超速GO音」の放送がスタート。（～2016年10月）
2017年	4月、BSフジで日曜決勝レースの生中継放送がスタート。
2019年	新シャシー“SF19”を導入。